

川越市
多文化共生に関する市民意識調査
報告書

川越市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	1
2. 調査の種類	1
3. 調査方法と回収状況	1
4. 調査結果を見る上での注意事項	2
第2章 外国籍市民向け調査結果	3
1. 回答者の属性	3
(1) 年齢	3
(2) 国籍	3
(3) 在留資格	4
(4) 居住年数	4
(5) 職種	5
(6) 居住地区	5
2. 暮らしについて	6
(1) 川越市に住む理由	6
(2) 川越市の住みやすさ	7
(3) 住みにくいと思う理由	7
(4) 普段の生活で困っていることや不安なこと	8
3. ことばについて	9
(1) 第一言語	9
(2) 日本語のスキル	9
(3) 日本語の勉強状況	10
(4) 日本語の勉強の方法	10
4. 情報の入手および提供について	11
(1) 川越市の情報の入手手段	11
(2) 市役所や市民センターの窓口で困ったことなど	12
(3) 必要とする川越市の情報	13
(4) 川越市の情報がわかる言語	13
5. 医療・保険・福祉について	14
(1) 各種行政サービスの認知	14
6. 防災について	15
(1) 災害への備え	15
7. 多文化共生のまちづくり	16
(1) 地元自治会への加入状況	16
(2) 自治会に加入していない理由	16
(3) 地域で参加してみたい活動	17
(4) トラブル等の原因となった内容	18

(5) 差別や偏見を感じたこと	19
(6) 差別や偏見を感じたとき	19
(7) 川越市国際交流センターで行っている事業等の認知	20
(8) 外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるための市の取り組み	21

第3章 日本人市民向け調査結果 22

1. 回答者の属性	22
(1) 性別と年齢	22
(2) 居住地区	23
(3) 居住年数	23
(4) 職業	24
2. 暮らしについて	25
(1) 居住地域の外国籍市民の多さ	25
(2) 近所に外国籍市民が居住することについて	25
(3) 外国籍市民とのトラブル等の経験	26
(4) 外国籍市民の生活ルールやマナーが日本社会とは異なること	27
3. ことばについて	28
(1) 日常会話のできる外国語	28
4. 地域での交流について	29
(1) 外国籍市民との交流や付き合い	29
(2) 交流や付き合いの機会の内容	29
(3) 外国籍市民が地域活動に参加すること	30
5. 防災について	31
(1) 外国籍市民とともに避難する際の懸念	31
(2) 緊急時に備えるために市役所に望む外国籍市民向け対策	31
6. 外国人観光客について	32
(1) 市民目線で見た外国人観光客が増えることでの影響や問題	32
7. 多文化共生のまちづくり	33
(1) 「多文化共生」の理解度	33
(2) 「多文化共生社会」のイメージ	33
(3) 川越市国際交流センターの認知	34
(4) 川越市国際交流センターで行っている事業等の認知	34
(5) 外国籍市民向けボランティアへの参加意向	35
(6) 外国籍市民向けの日本語ボランティア教師としての意欲	35
(7) 共にまちづくりをしていくため、外国籍市民に望むこと	36
(8) まちづくりをしていく仲間になるために日本人市民ができること	36
(9) 多文化共生を推進するために市が力を入れて対応するべきこと	37
8. その他	38
(1) 自由意見	38

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本市には82か国、約10,417人（令和6年3月末現在）の外国籍市民が生活しており、国籍等にかかわらず、すべての市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくりを目指している。

今回、本市における多様なニーズを把握するため、日本人と外国籍市民の双方から意見を伺い、多文化共生を促進する施策の策定に活用する。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 外国籍市民向け調査	令和6年10月1日現在、市に住民登録のある満18歳以上の外国籍市民2,000名
2. 日本人市民向け調査	令和6年10月1日現在、市に住民登録のある満18歳以上の日本人市民1,000名

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

（外国籍市民向け調査のやさしい日本語及び日本人向け調査は電子申請でも回答可）

調査期間：令和6年10月25日（金）～11月15日（金）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 外国籍市民向け調査	2,000件	300件	15.0%
2. 日本人市民向け調査	1,000件	386件	38.6%

外国籍市民向けに5種類の調査票を作成した。各調査票の回収状況は以下のとおり。

	やさしい 日本語	英語	中国語	ベトナム語	ネパール語
回収数	193件	55件	23件	14件	15件

※「中国国籍」と回答した人（83人）のうち27.7%（23人）が「中国語」の調査票で回答。（それ以外は「やさしい日本語」の調査票で回答）

※「ベトナム国籍」と回答した人（57人）のうち24.6%（14人）が「ベトナム語」の調査票で回答。（それ以外は「やさしい日本語」の調査票で回答）

※「ネパール国籍」と回答した人（18人）のうち83.3%（15人）が「ネパール語」の調査票で回答。（それ以外は「やさしい日本語」の調査票で回答）

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・統計数値を考察するにあたっては、表現を概ね以下のとおりとしている。

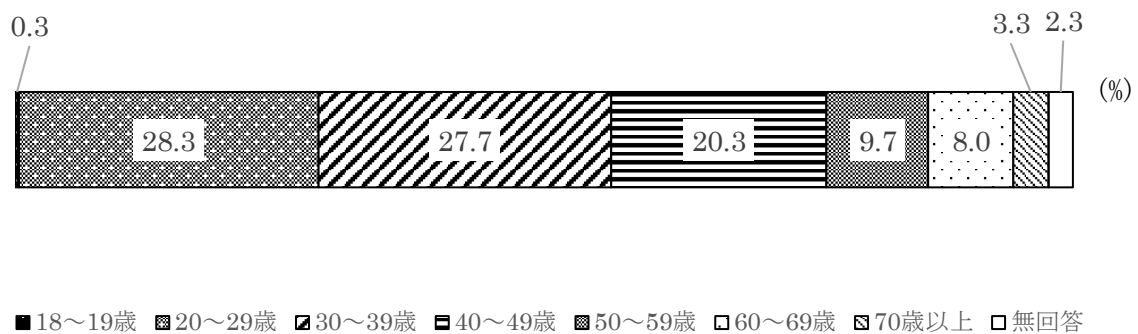
例	表現
69.5～70.4％	約7割 ※70.0％も約7割
70.5～73.4％	7割を超える
73.5～76.4％	7割半ば
76.5～79.4％	8割近く

第2章 外国籍市民向け調査結果

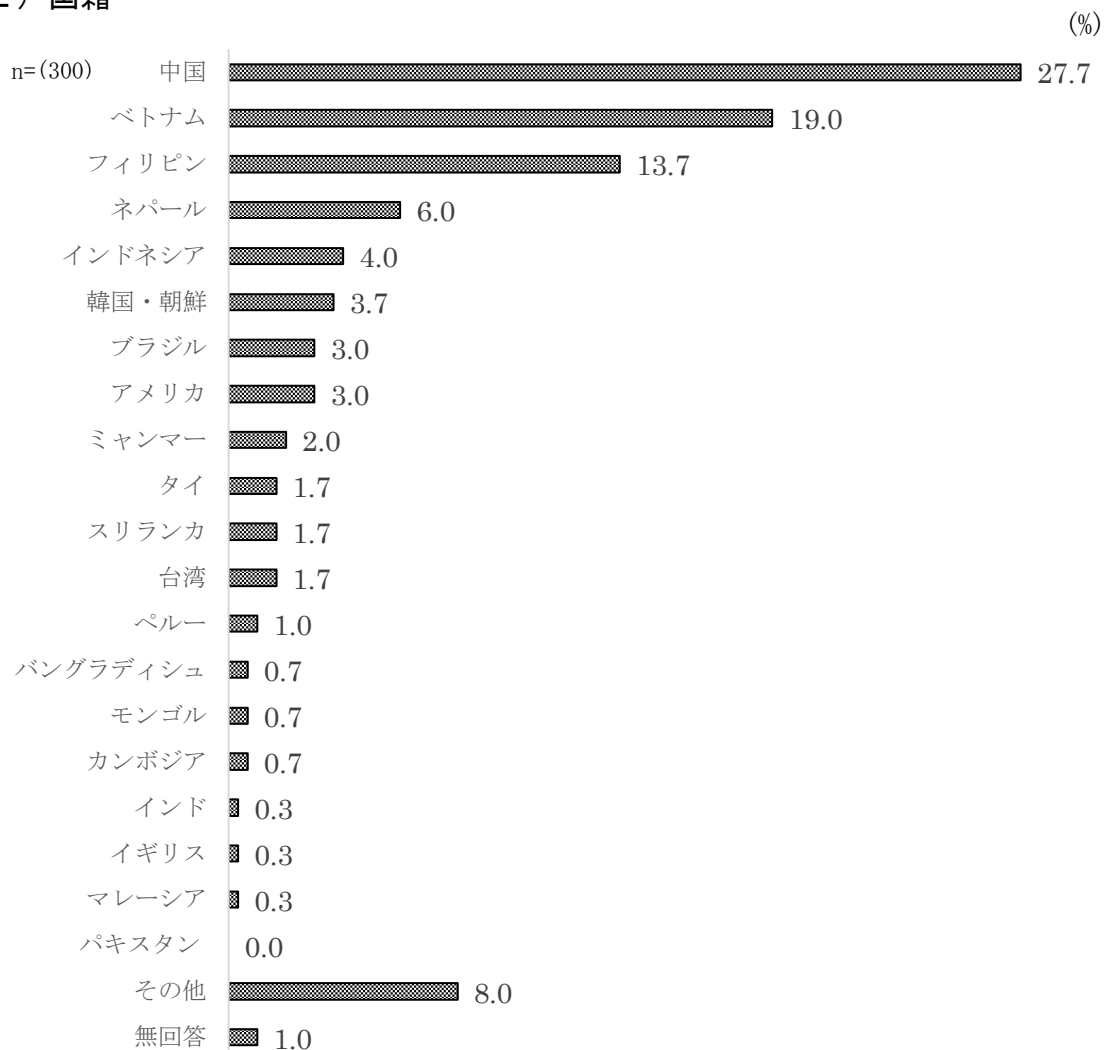
1. 回答者の属性

(1) 年齢

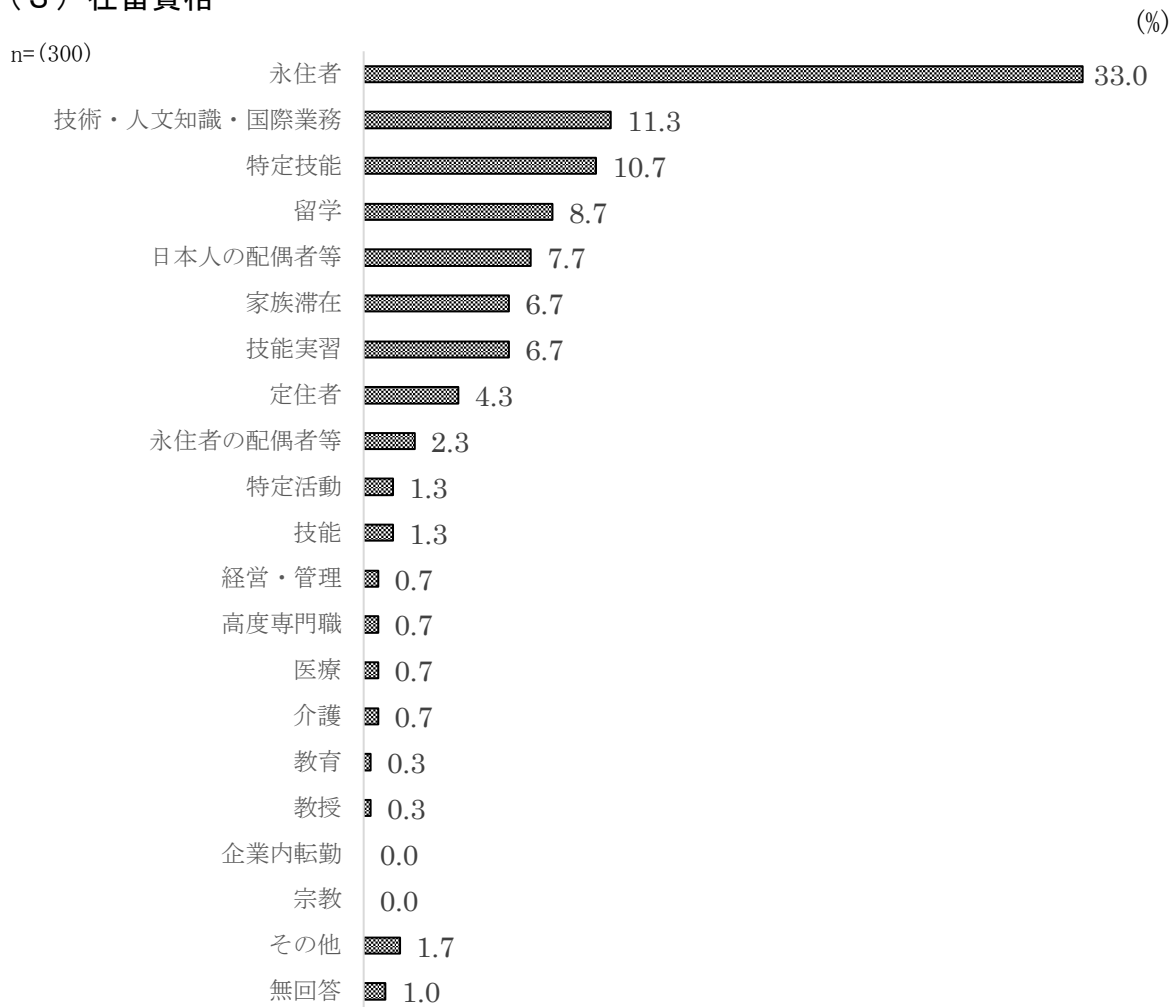
n=(300)



(2) 国籍



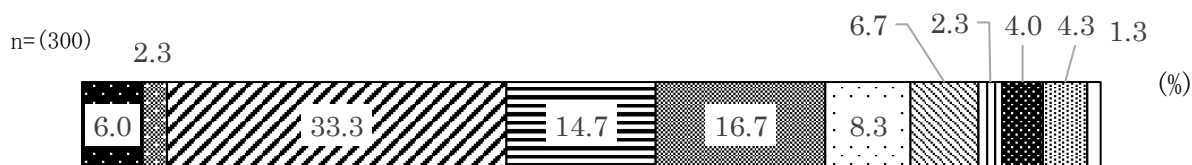
(3) 在留資格



(4) 居住年数

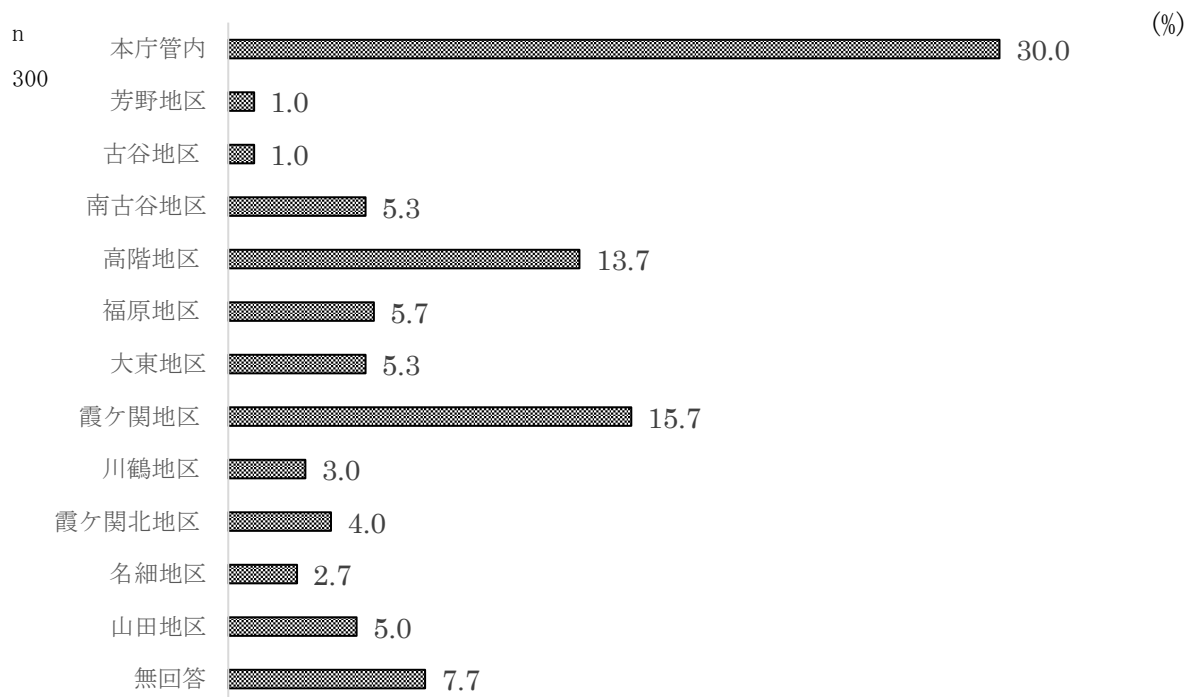


(5) 職種



- 自営業主または家族従業者
- 経営者、会社・団体役員
- 正規雇用されている一般社員、一般職員（公務員・教員を含む）
- 派遣社員、契約社員、請負・委託業務
- 臨時雇用、パート、アルバイト
- 専業主婦・専業主夫（パート、内職、家族従業をしていない方）
- 学生（アルバイトをしている方）
- 学生（アルバイトをしていない方）
- 無職（専業主婦・専業主夫以外の方、学生以外の方）
- その他
- 無回答

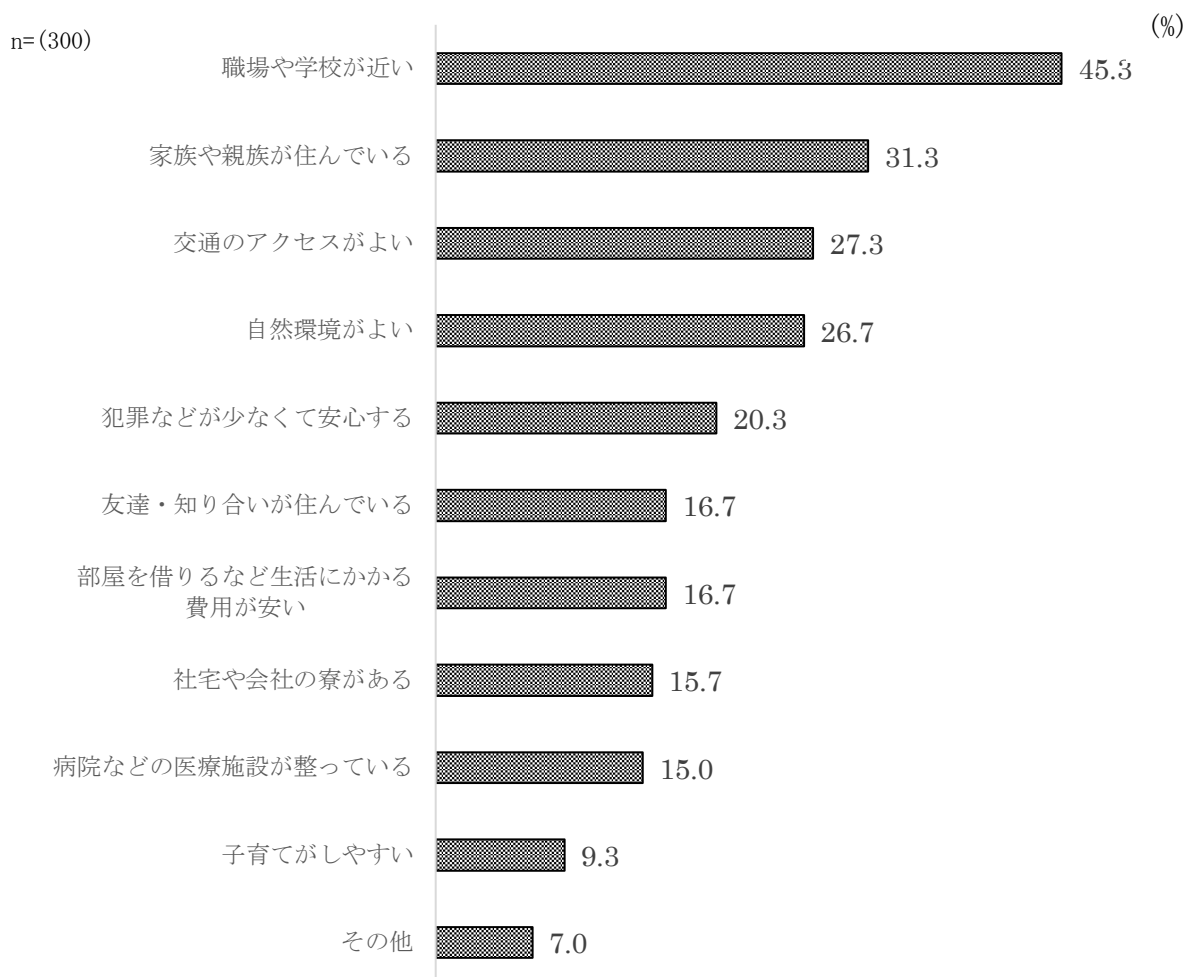
(6) 居住地区



2. 暮らしについて

(1) 川越市に住む理由

問1 あなたが、川越市に住む理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

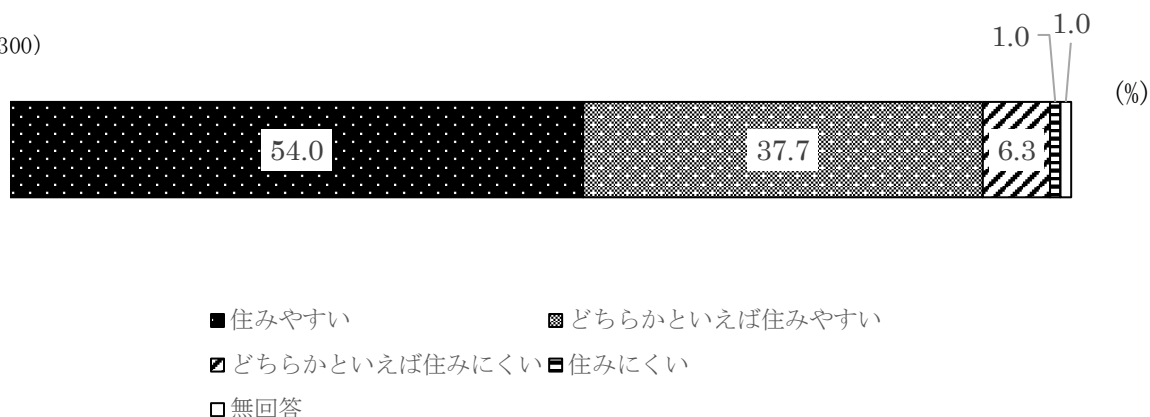


川越市に住む理由では、「職場や学校が近い」が45.3%で最も高く、次いで「家族や親族が住んでいる」が31.3%、「交通のアクセスがよい」が27.3%、「自然環境がよい」が26.7%、「犯罪などが少なくて安心する」が20.3%となっている。

(2) 川越市の住みやすさ

問2 あなたにとって、川越市は住みやすいところだと思いますか。(1つに○)

n=(300)



川越市の住みやすさでは、「住みやすい」が54.0%で最も高く、「どちらかといえば住みやすい」が37.7%となっている。これらを合わせた《住みやすい》は91.7%となっている。

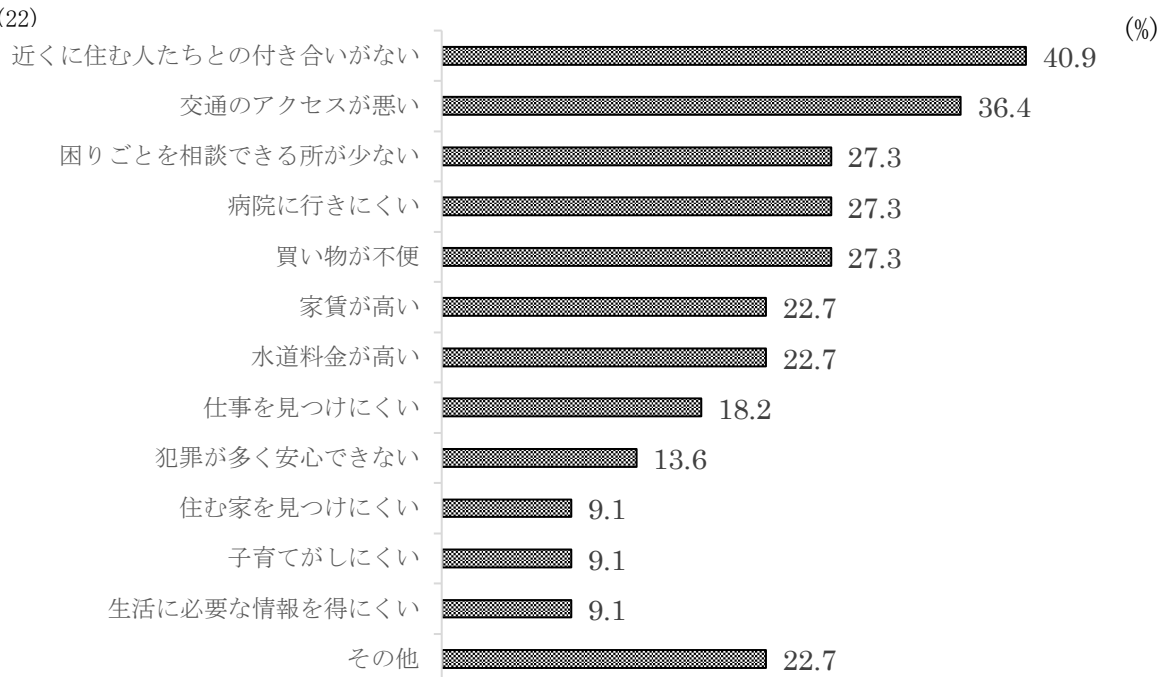
一方、「どちらかといえば住みにくい」(6.3%)と、「住みにくい」(1.0%)を合わせた《住みにくい》は7.3%と1割に満たない。

(3) 住みにくいと思う理由

【問2で「どちらかといえば住みにくい」又は「住みにくい」とお答えの方に】

問2-1 なぜ住みにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

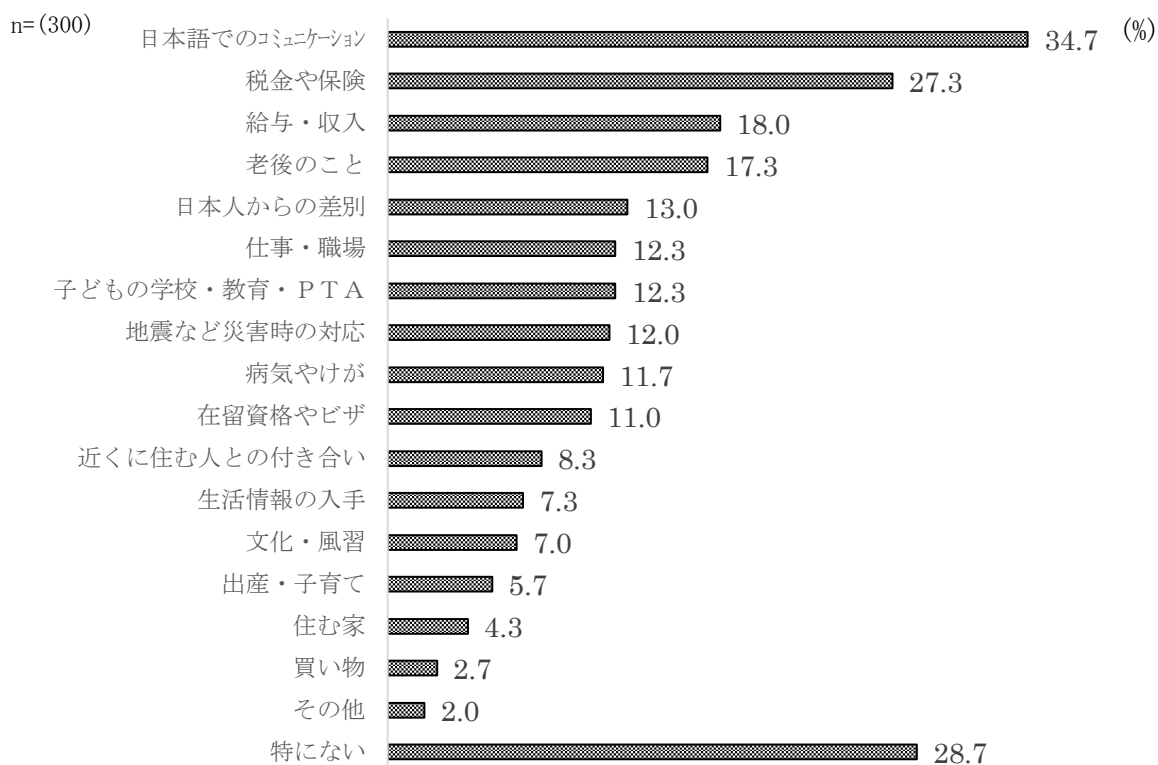
n=(22)



住みにくいと思う理由については、回答者数が少ない点に留意する必要があるものの、「近くに住む人たちとの付き合いがない」、「交通のアクセスが悪い」、「困りごとを相談できる所が少ない」、「病院に行きにくい」、「買い物が不便」が多くなっている。

(4) 普段の生活で困っていることや不安なこと

問3 あなたが、普段の生活で困っていることや不安なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

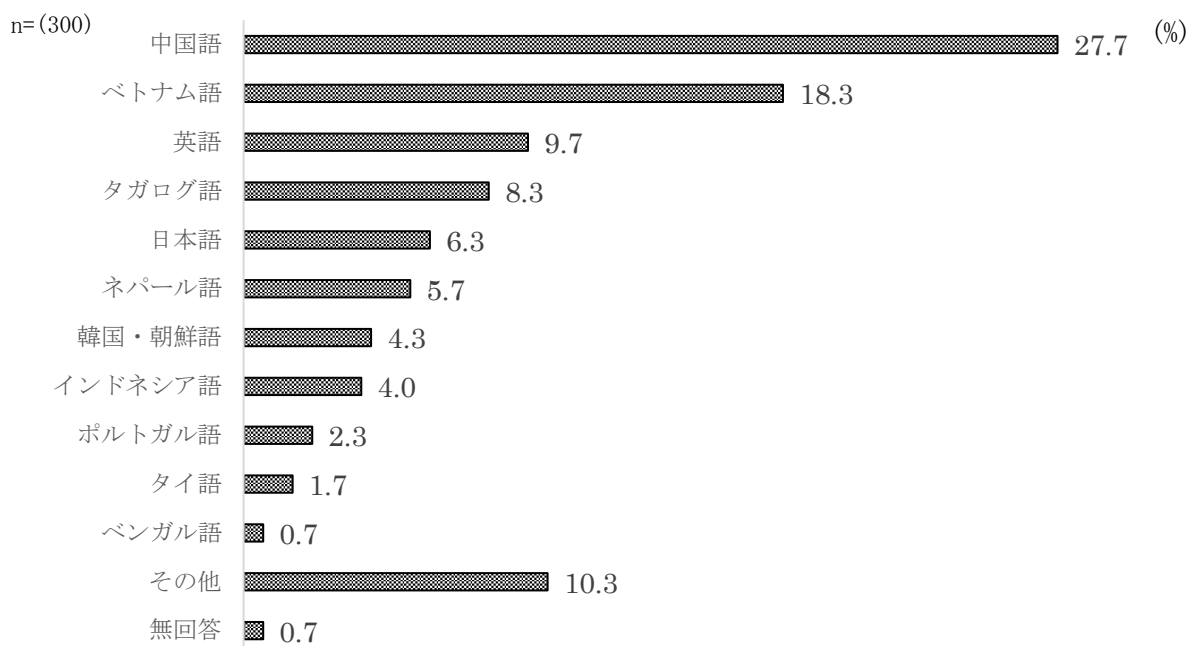


普段の生活で困っていることや不安なことでは、「日本語でのコミュニケーション」が34.7%で最も高く、次いで「税金や保険」が27.3%、「給与・収入」が18.0%、「老後のこと」が17.3%、「日本人からの差別」が13.0%となっている。

3. ことばについて

(1) 第一言語

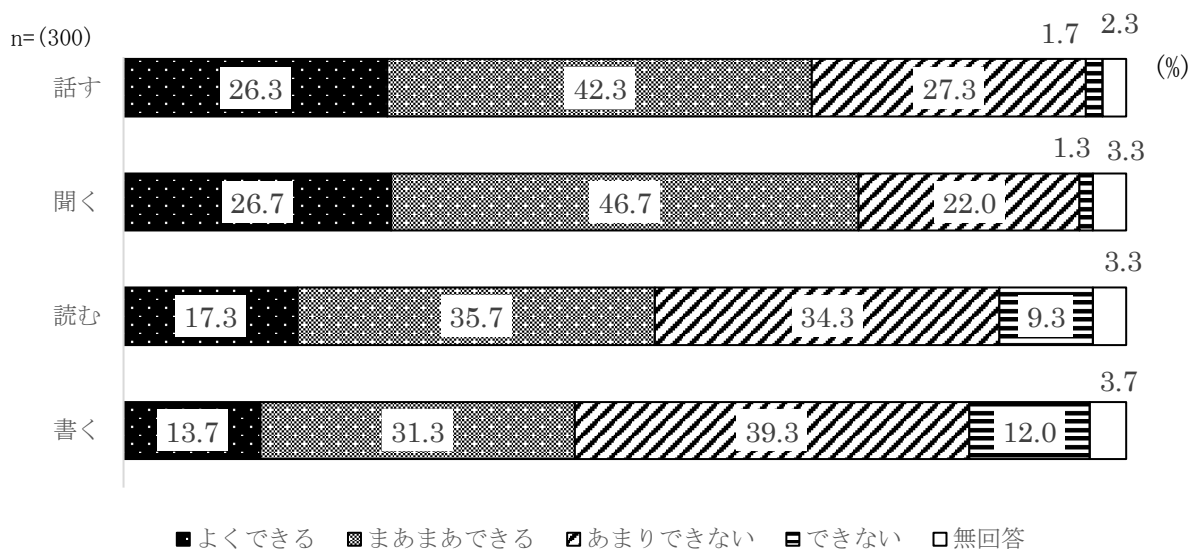
問4 あなたの第一言語（一番得意な言語）はどれですか。（1つに○）



第一言語は、「中国語」が27.7%で最も高く、次いで「ベトナム語」が18.3%、「英語」が9.7%、「タガログ語」が8.3%、「日本語」が6.3%となっている。

(2) 日本語のスキル

問5 あなたはどのくらい日本語ができますか。（A～Dそれぞれについて1つに○）



日本語のスキルについて、「よくできる」と「まあまあできる」を合わせた《できる》は、「話す」が68.6%、「聞く」が73.4%、「読む」が53.0%、「書く」が45.0%となっている。

(3) 日本語の勉強状況

問6 あなたは、日本語を勉強していますか（勉強したいですか）。（1つに○）

n=(300)

(%)



■ 勉強している ■ これから勉強したい ■ 勉強したいと思わない □ 無回答

日本語学習については、「勉強している」が55.0%で最も高く、次いで「これから勉強したい」が29.3%、「勉強したいと思わない」が11.7%となっている。

(4) 日本語の勉強の方法

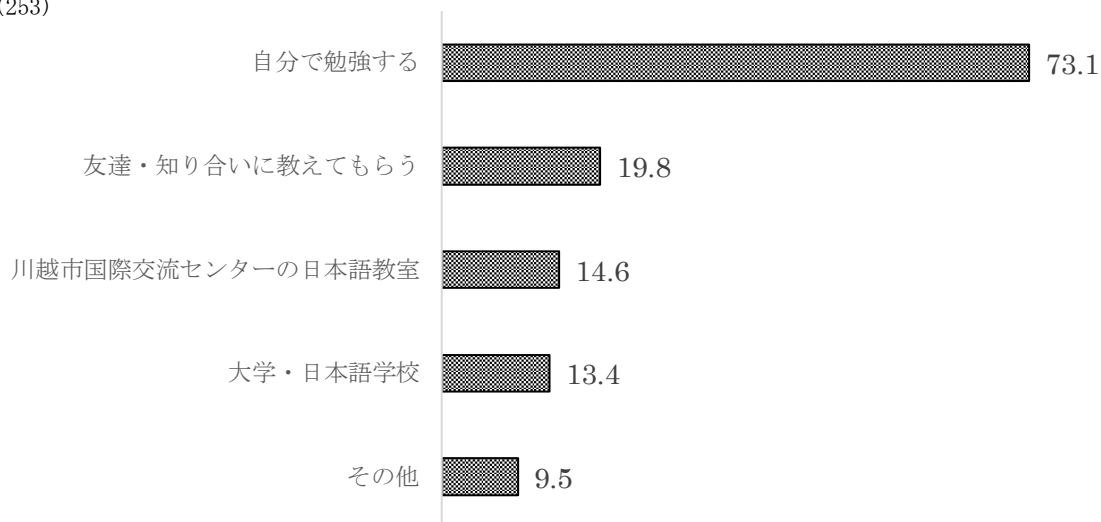
【問6で「勉強している」又は「これから勉強したい」とお答えの方に】

問6-1 どのような方法で勉強していますか（勉強したいですか）。

（あてはまるものすべてに○）

n=(253)

(%)

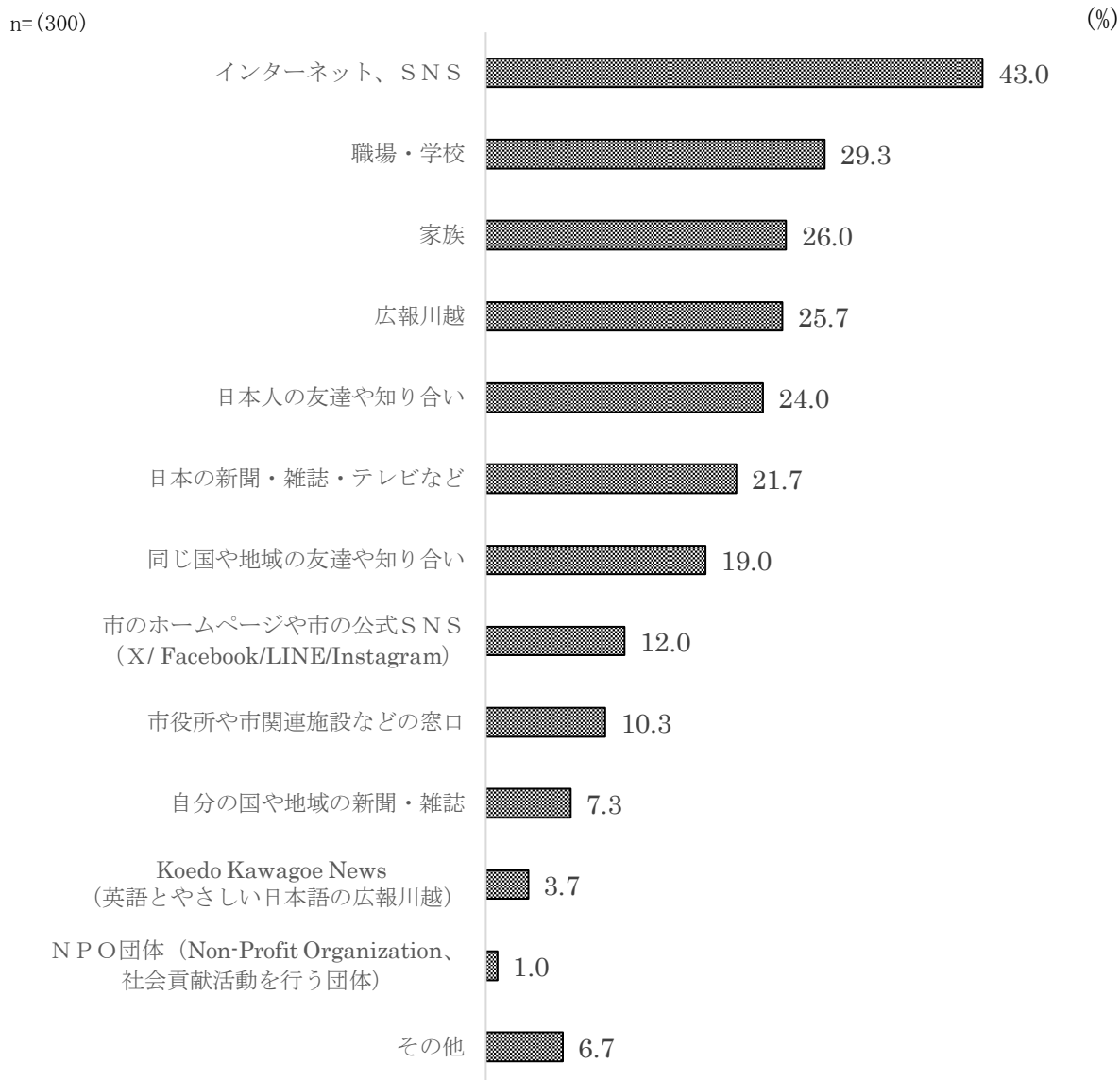


日本語の勉強の方法では、「自分で勉強する」が73.1%で最も高く、次いで「友達・知り合いに教えてもらう」が19.8%、「川越市国際交流センターの日本語教室」が14.6%、「大学・日本語学校」が13.4%となっている。

4. 情報の入手および提供について

(1) 川越市の情報の入手手段

問7 あなたは、川越市の情報をどのように知りますか。
(あてはまるものすべてに○)

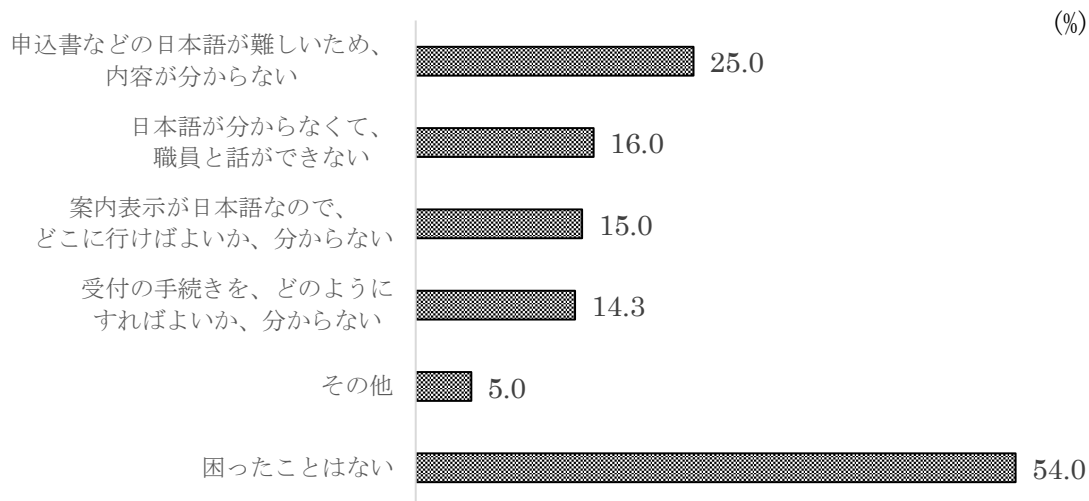


川越市の情報の入手手段では、「インターネット、SNS」が43.0%で最も高く、次いで「職場・学校」が29.3%、「家族」が26.0%、「広報川越」が25.7%、「日本人の友達や知り合い」が24.0%となっている。

(2) 市役所や市民センターの窓口で困ったことなど

問 8 あなたは、市役所や市民センターの窓口で困ったことや心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

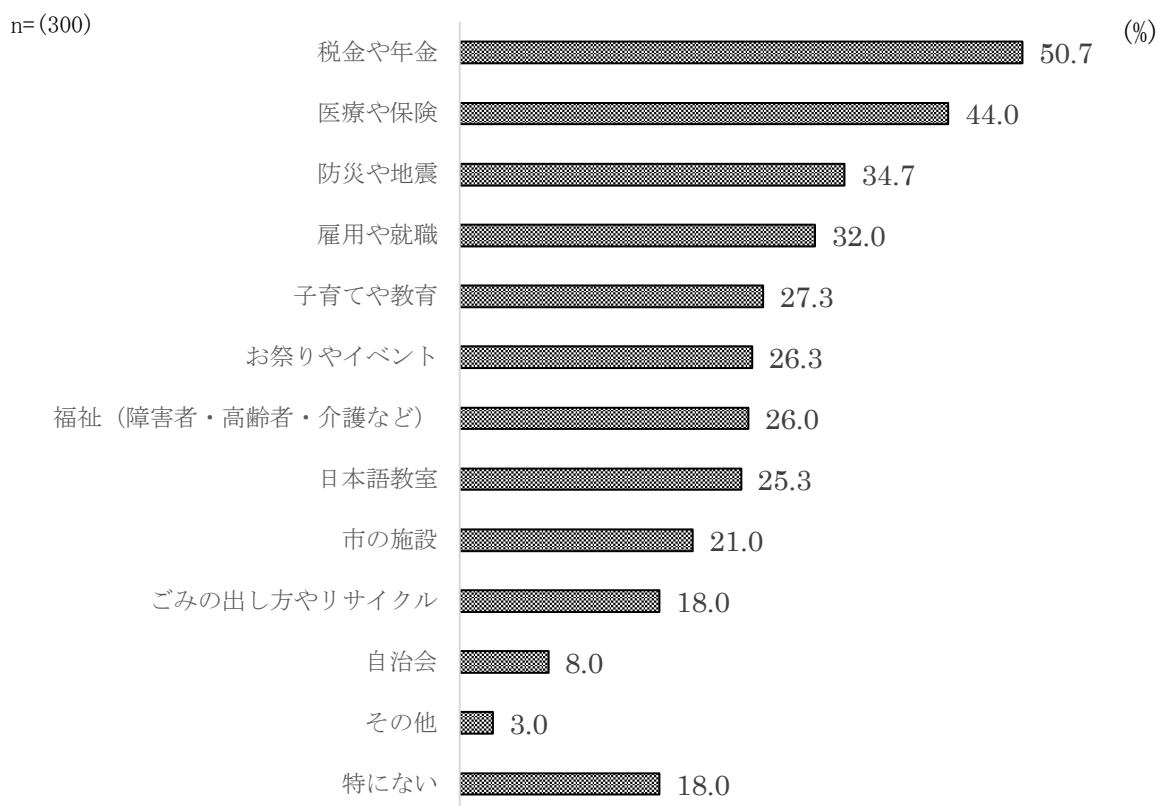
n=(300)



市役所や市民センターの窓口で困ったことなどでは、「困ったことはない」が54.0%で最も高いが、具体的な困りごととしては、「申込書などの日本語が難しいため、内容が分からない」が25.0%で最も高く、次いで「日本語が分からなくて、職員と話ができない」が16.0%、「案内表示が日本語なので、どこに行けばよいか分からない」が15.0%、「受付の手続きを、どのようにすればよいか、分からない」が14.3%となっている。

(3) 必要とする川越市の情報

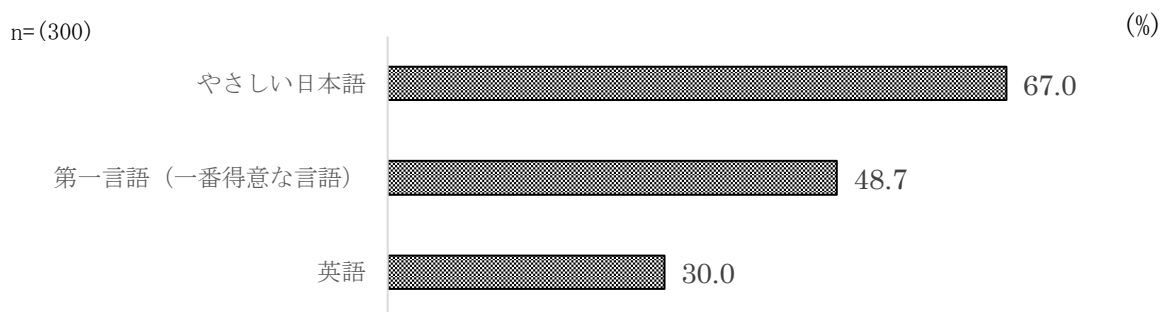
問9 あなたは、川越市のどのような情報を必要としていますか。
(あてはまるものすべてに○)



必要とする川越市の情報では、「税金や年金」が50.7%で最も高く、次いで「医療や保険」が44.0%、「防災や地震」が34.7%、「雇用や就職」が32.0%、「子育てや教育」が27.3%となっている。

(4) 川越市の情報がわかる言語

問10 あなたは、川越市の情報を入手するのに、どの言語だとわかりますか。
(あてはまるものすべてに○)

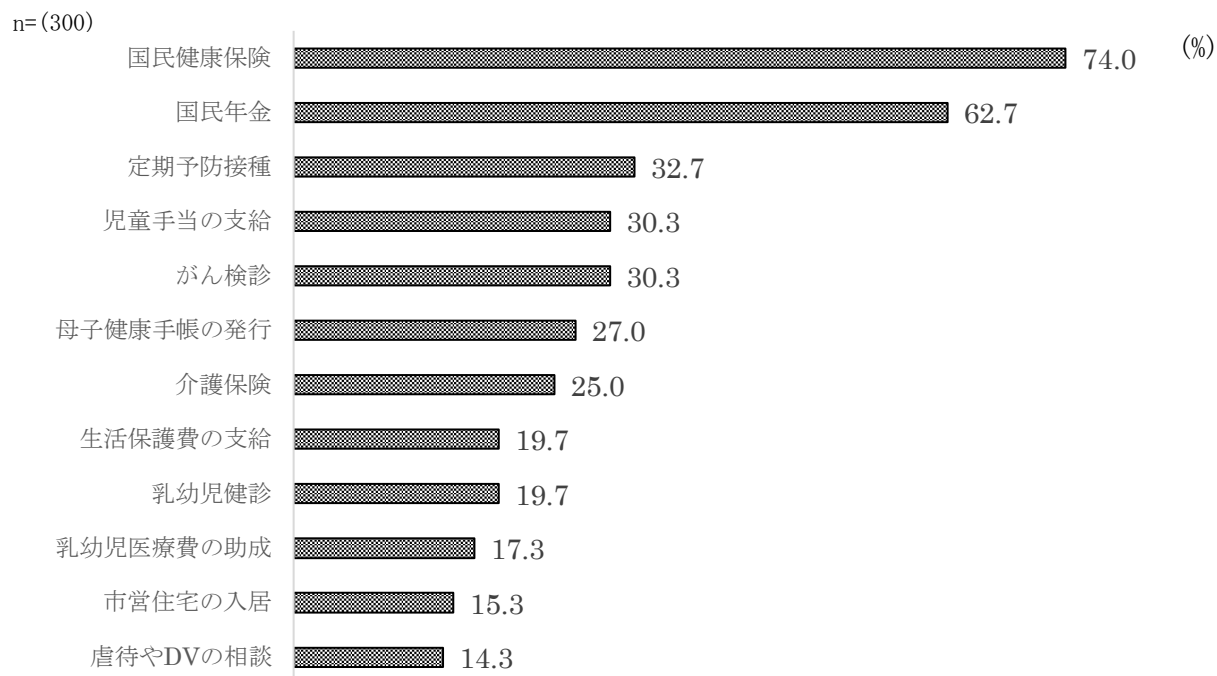


川越市の情報がわかる言語は、「やさしい日本語」が67.0%で最も高く、次いで「第一言語」が48.7%、「英語」が30.0%となっている。

5. 医療・保険・福祉について

(1) 各種行政サービスの認知

問11 あなたは、次の行政サービスについて聞いたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

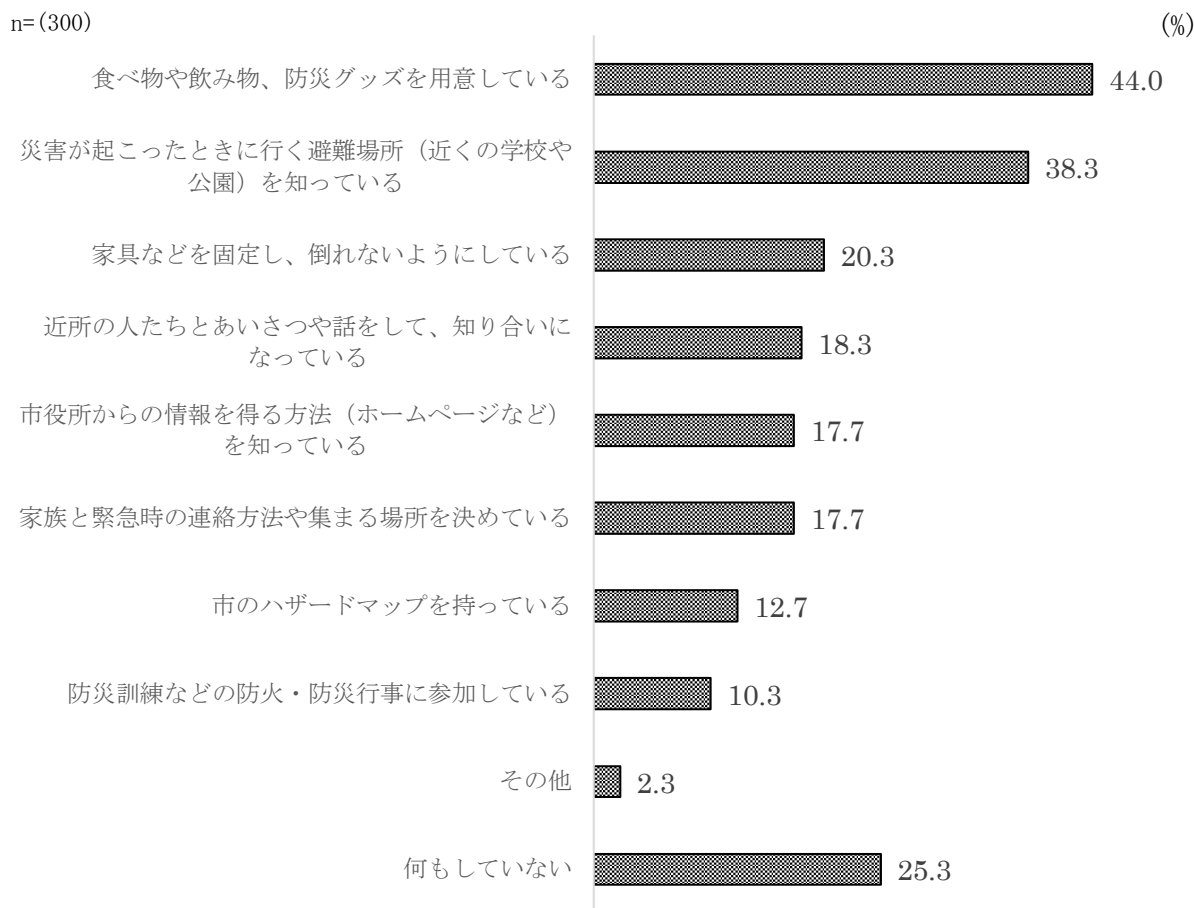


各種行政サービスの認知では、「国民健康保険」が74.0%で最も高く、次いで「国民年金」が62.7%、「定期予防接種」が32.7%、「児童手当の支給」と「がん検診」が30.3%となっている。

6. 防災について

(1) 災害への備え

問12 あなたは地震、台風、大雨について、どのような準備をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)



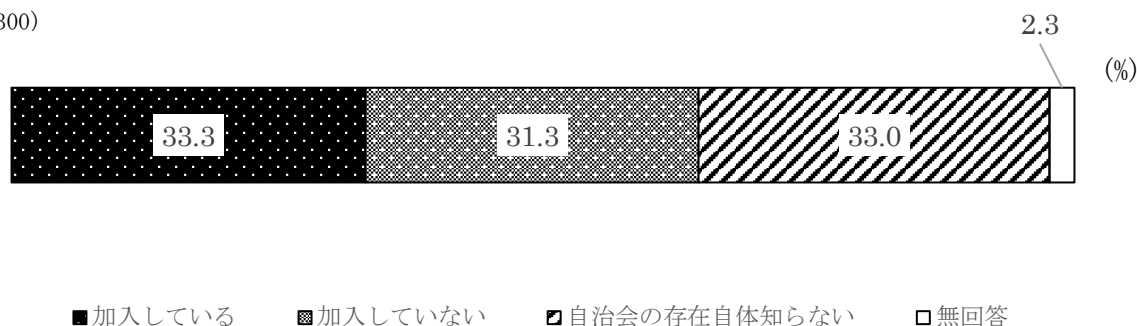
災害への備えでは、「食べ物や飲み物、防災グッズを用意している」が44.0%で最も高く、次いで「災害が起こったときに行く避難場所（近くの学校や公園）を知っている」が38.3%、「家具などを固定し、倒れないようにしている」が20.3%、「近所の人たちとあいさつや話をして、知り合いになっている」が18.3%、「市役所からの情報を得る方法（ホームページなど）を知っている」と「家族と緊急時の連絡方法や集まる場所を決めている」が17.7%となっている。

7. 多文化共生のまちづくり

(1) 地元自治会への加入状況

問13 あなたは住んでいる地元の自治会に加入していますか。(1つに○)

n=(300)



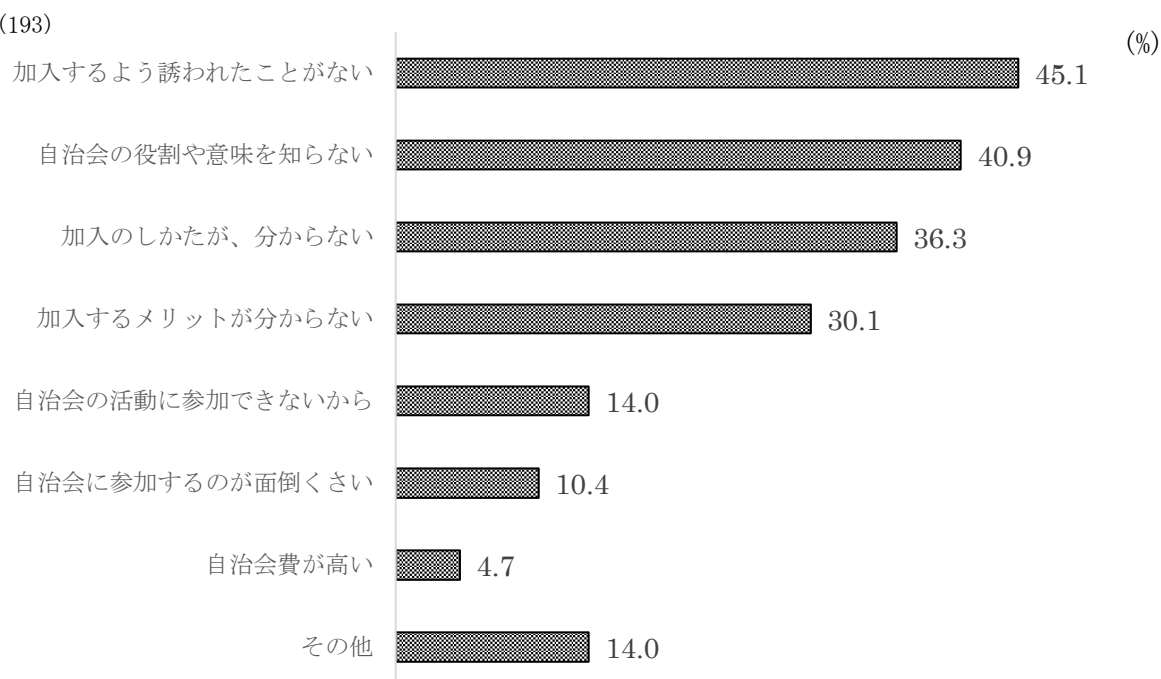
地元自治会への加入状況では、「加入している」が33.3%、「加入していない」が31.3%、「自治会の存在自体知らない」が33.0%となっている。

(2) 自治会に加入していない理由

【問13で「加入していない」「自治会の存在自体知らない」とお答えの方に】

問13-1 自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

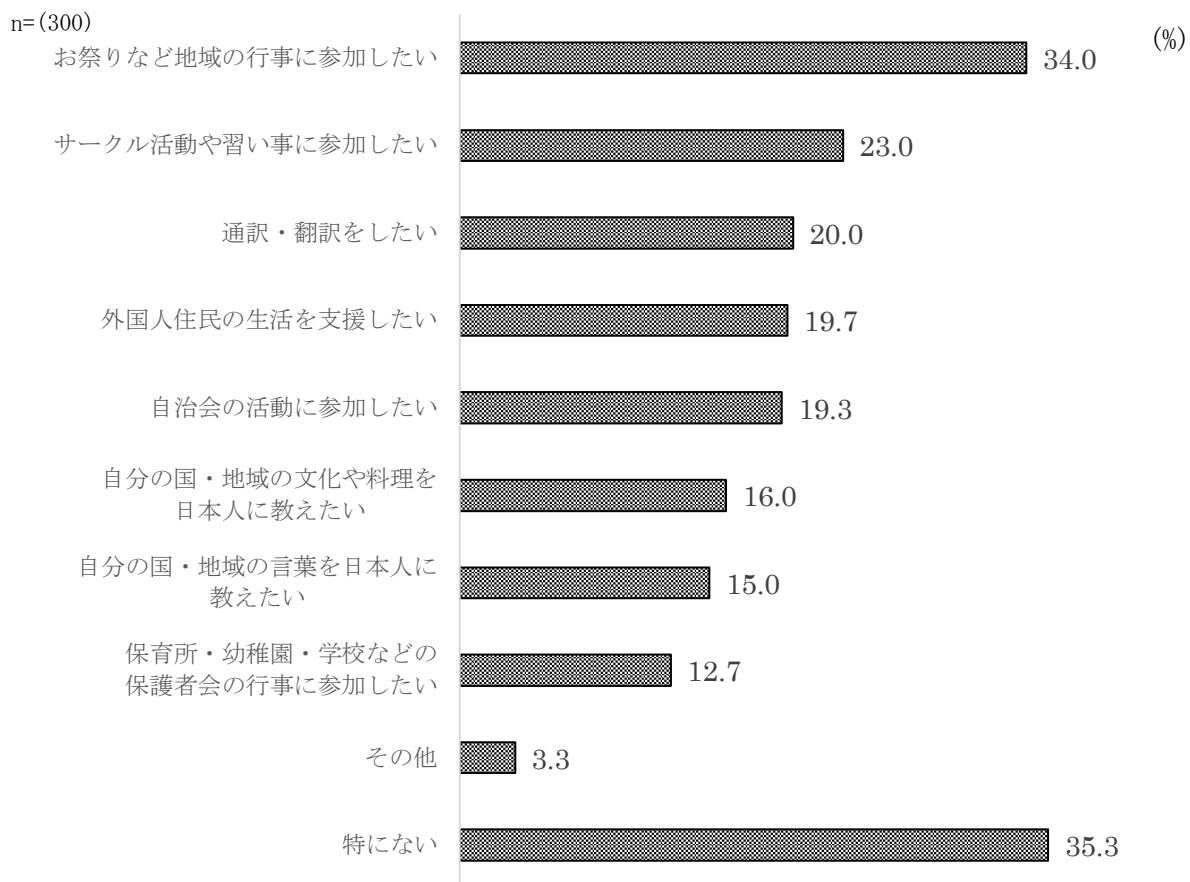
n=(193)



自治会に加入していない理由では、「加入するよう誘われたことがない」が45.1%で最も高く、次いで「自治会の役割や意味を知らない」が40.9%、「加入のしかたが、分からない」が36.3%、「加入するメリットが分からない」が30.1%、「自治会の活動に参加できないから」が14.0%となっている。

(3) 地域で参加してみたい活動

問14 地域の中で自分がやってみたい活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

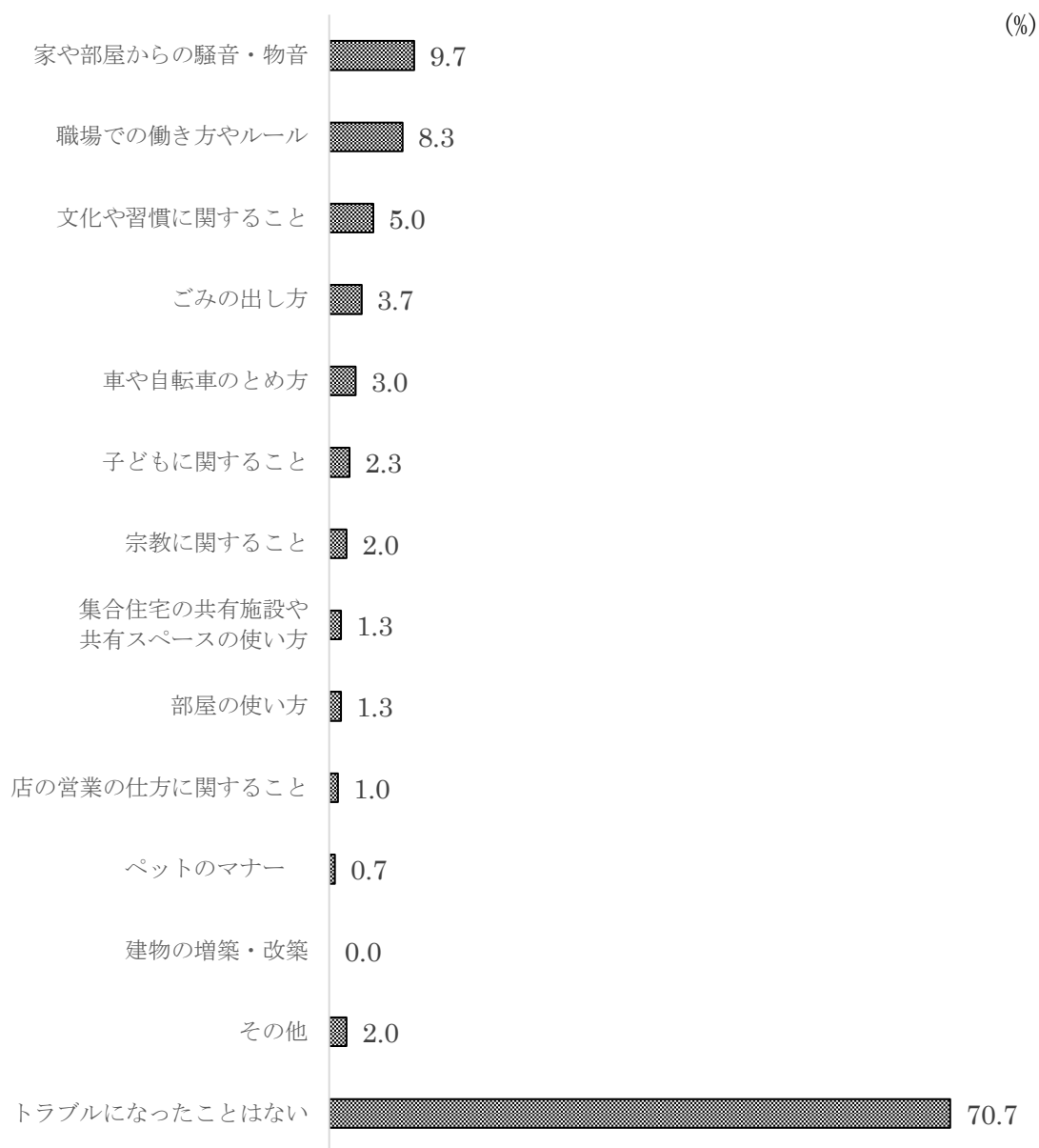


地域で参加してみたい活動では、「特にない」が35.3%で最も高くなっているが、「特にない」を除くと、「お祭りなど地域の行事に参加したい」が34.0%で最も高く、次いで「サークル活動や習い事に参加したい」が23.0%、「通訳・翻訳をしたい」が20.0%、「外国人住民の生活を支援したい」が19.7%、「自治会の活動に参加したい」が19.3%となっている。

(4) トラブル等の原因となった内容

問15 日本人市民とのトラブルや言い争いが起こったことがある方は、どのような場面や分野で起こりましたか。(あてはまるものすべてに○)

n=(300)



日本人市民とのトラブルについては、「トラブルになったことはない」が70.7%で最も高くなっているが、トラブル等の原因となった内容では、「家や部屋からの騒音・物音」が9.7%で最も高く、次いで「職場での働き方やルール」が8.3%、「文化や習慣に関すること」が5.0%、「ごみの出し方」が3.7%、「車や自転車のとめ方」が3.0%となっている。

（５）差別や偏見を感じたこと

問16 あなたは、日常生活で差別や偏見を感じたことはありますか。（１つに○）

n=(300)



■ よくある ■ ときどきある ■ たまにある ■ まったくない ■ 分からない □ 無回答

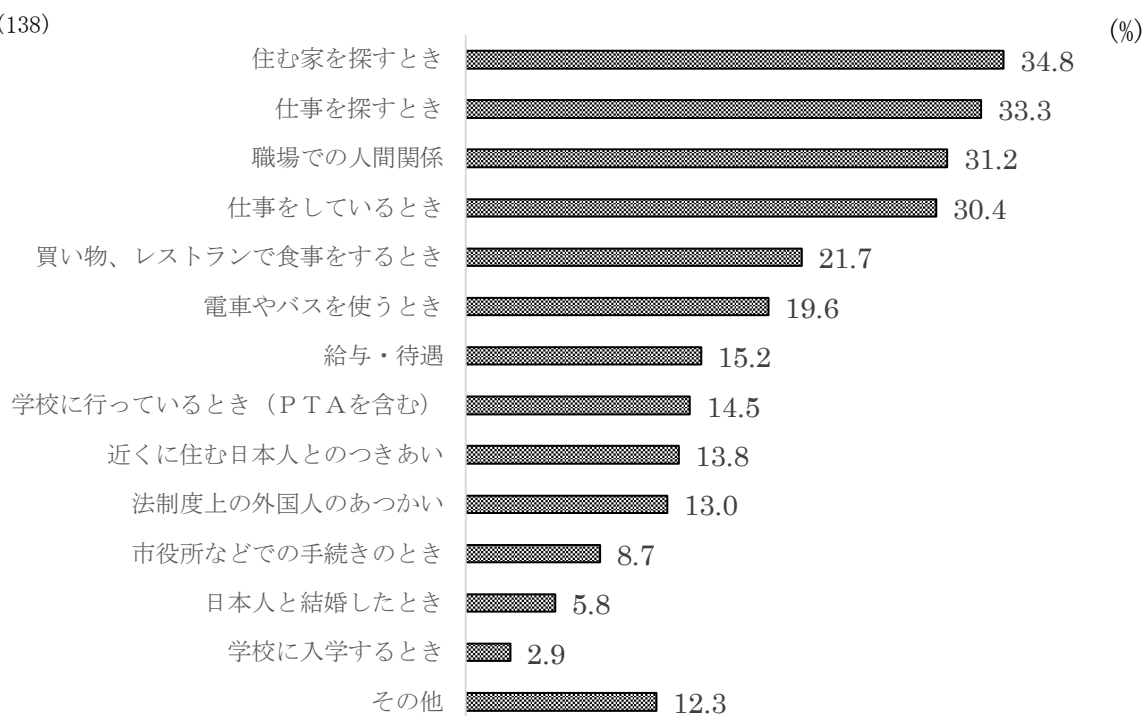
差別や偏見を感じたことでは、「よくある」(3.0%)、「ときどきある」(14.3%)、「たまにある」(28.7%)を合わせた《ある》は46.0%となっている。一方、「まったくない」は39.0%となっている。

（６）差別や偏見を感じたとき

【問16で「よくある」、「ときどきある」、「たまにある」とお答えの方に】

16-1 それはどのようなときでしたか。（あてはまるものすべてに○）

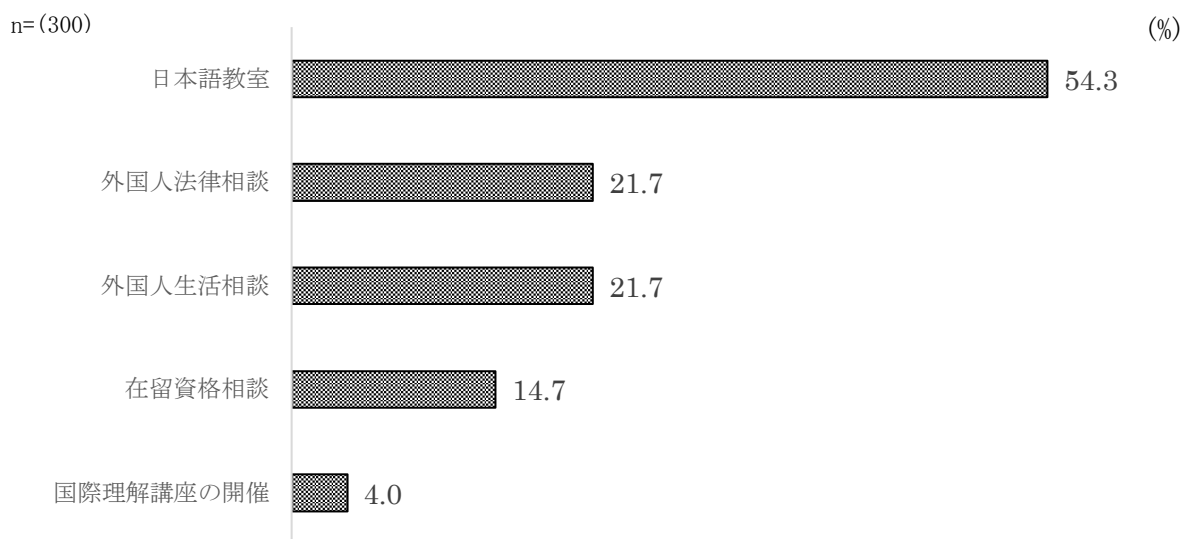
n=(138)



差別や偏見を感じたときでは、「住む家を探すとき」が34.8%で最も高く、次いで「仕事を探すとき」が33.3%、「職場での人間関係」が31.2%、「仕事をしているとき」が30.4%、「買い物、レストランで食事をするとき」が21.7%となっている。

(7) 川越市国際交流センターで行っている事業等の認知

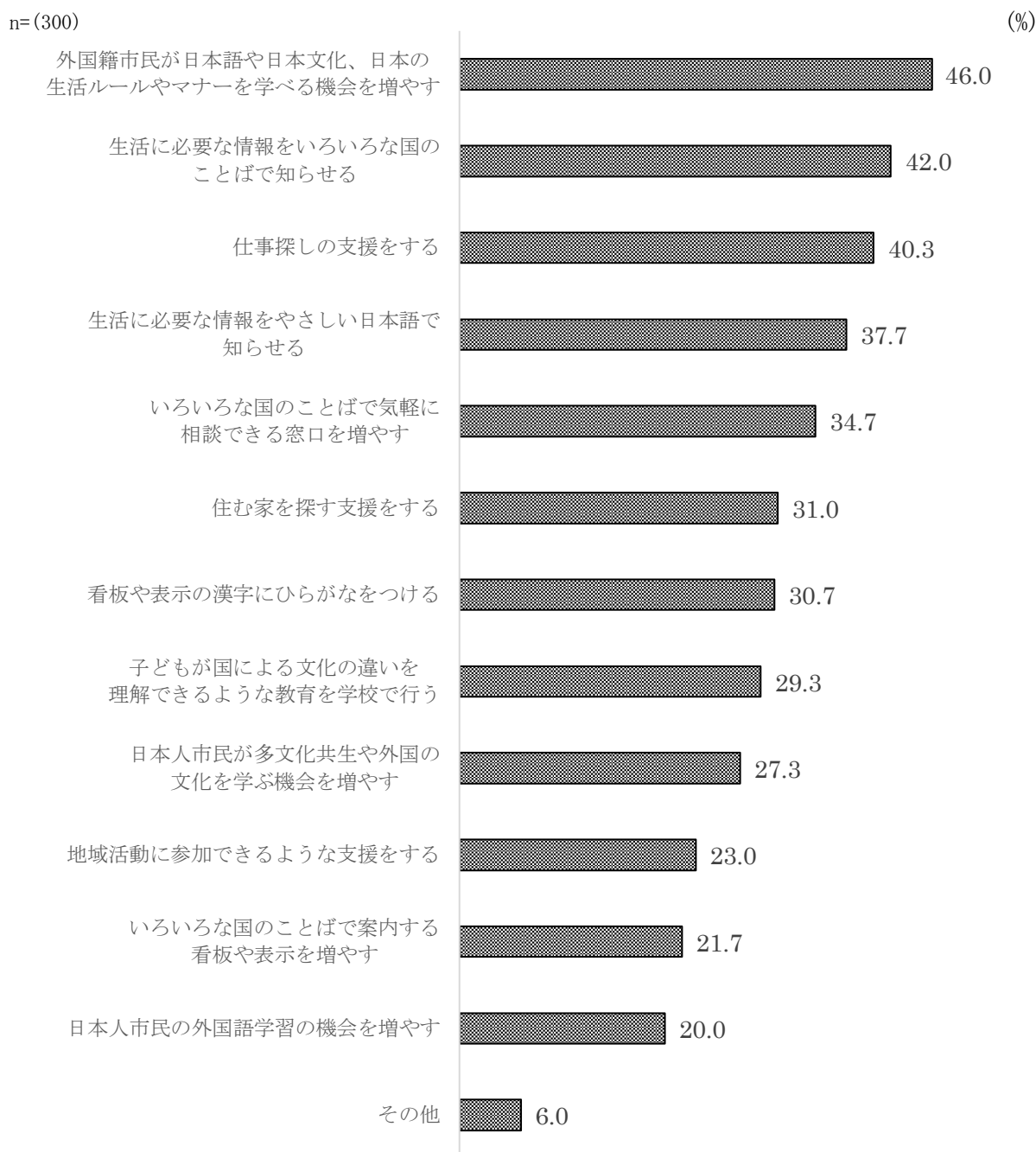
問17 川越市国際交流センターで行っている次の事業等を聞いたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



川越市国際交流センターで行っている事業等の認知では、「日本語教室」が54.3%で最も高く、次いで「外国人法律相談」と「外国人生活相談」が21.7%、「在留資格相談」が14.7%、「国際理解講座の開催」が4.0%となっている。

(8) 外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるための市の取り組み

問18 あなたは、川越市がどのような取り組みすれば、あなたを含む外国籍市民にとって暮らしやすいまちになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるための市の取り組みでは、「外国籍市民が日本語や日本文化、日本の生活ルールやマナーを学べる機会を増やす」が46.0%で最も高く、次いで「生活に必要な情報をいろいろな国のことばで知らせる」が42.0%、「仕事探しの支援をする」が40.3%、「生活に必要な情報をやさしい日本語で知らせる」が37.7%、「いろいろな国のことばで気軽に相談できる窓口を増やす」が34.7%となっている。

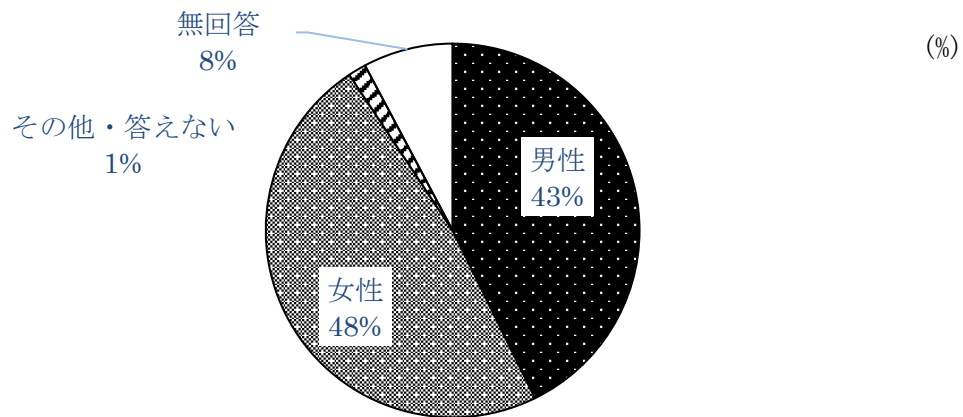
第3章 日本人市民向け調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別と年齢

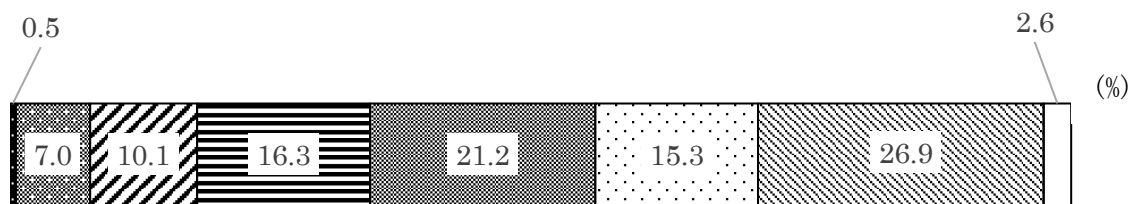
性別

n=(386)



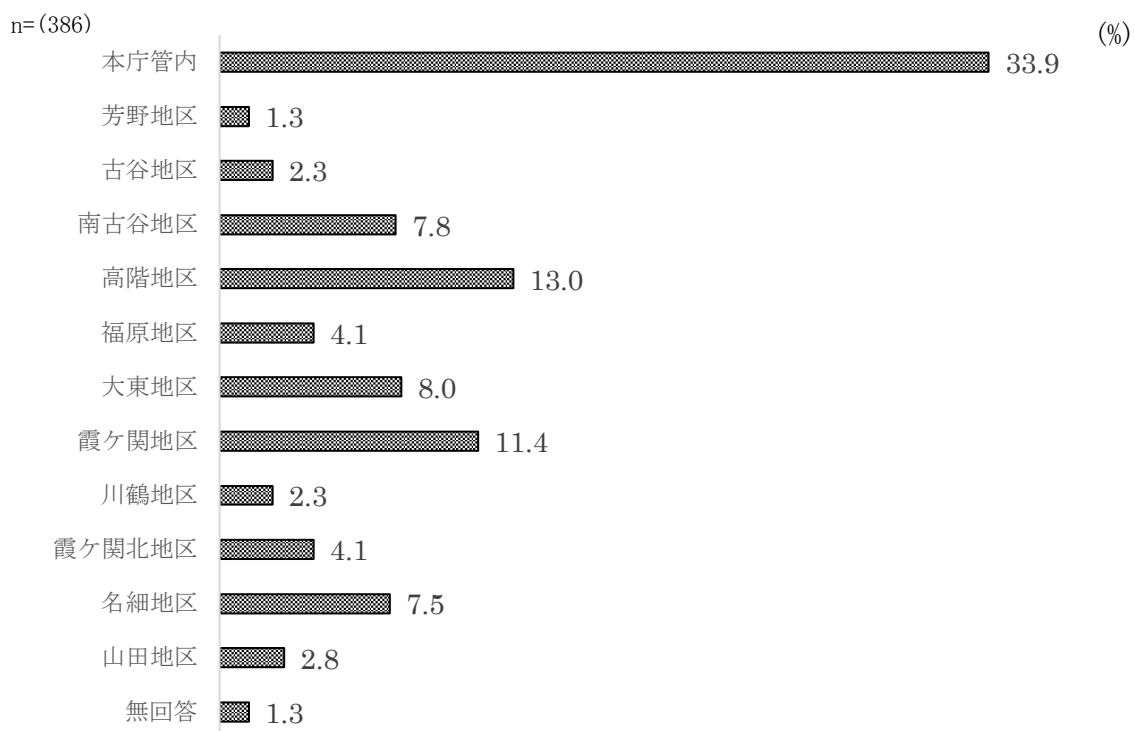
年齢

n=(386)

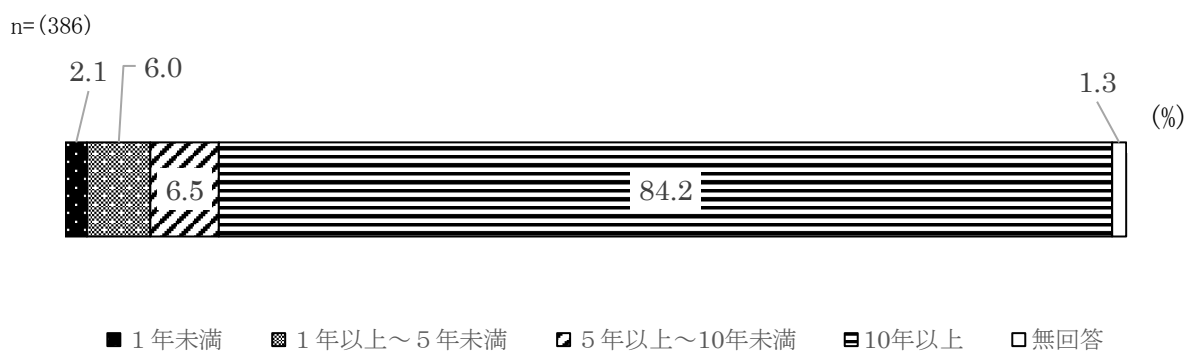


■ 18～19歳 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 □ 60～69歳 ■ 70歳以上 □ 無回答

(2) 居住地区

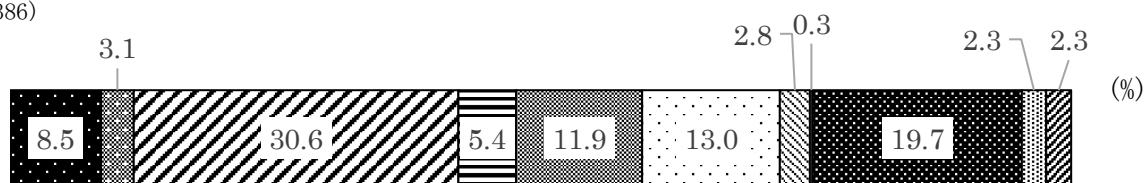


(3) 居住年数



(4) 職業

n=(386)



- 自営業主または家族従業者
- 会社経営者、会社・団体役員
- 正規雇用されている一般社員、一般職員（公務員・教員を含む）
- 派遣社員、契約社員、請負・委託業務
- 臨時雇用、パート、アルバイト
- 専業主婦・専業主夫（パート、内職、家族従業をしていない方）
- 学生（アルバイトをしている方）
- 学生（アルバイトをしていない方）
- 無職（専業主婦・専業主夫以外の方、学生以外の方）
- その他
- 無回答

2. 暮らしについて

(1) 居住地域の外国籍市民の多さ

問1 あなたの住んでいる地域には外国籍市民が多いと感じますか。(1つに○)

n=(386)

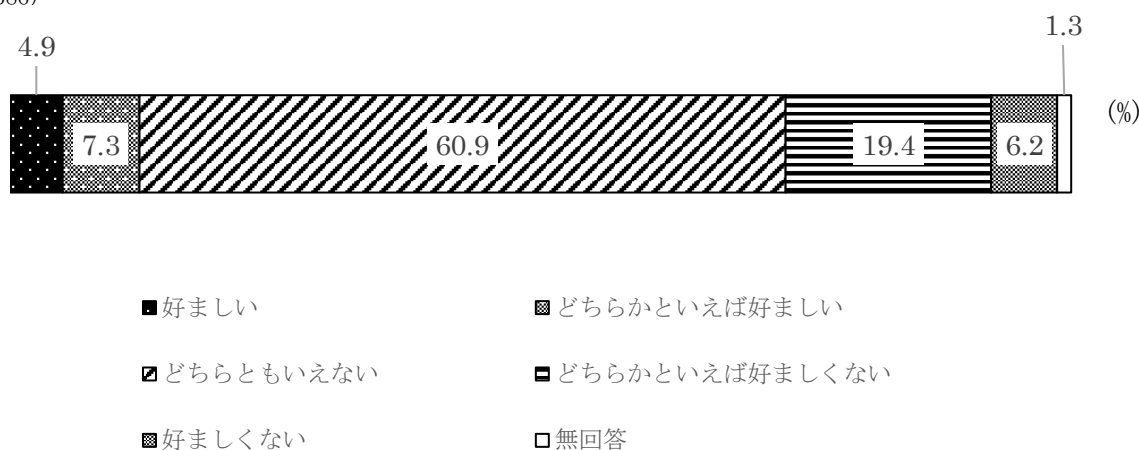


居住地域の外国籍市民の多さでは、「多いと感じる」(14.0%)と「ある程度多いと感じる」(24.9%)を合わせた《多いと感じる》は38.9%となっている。一方、「それほど多いとは感じない」(37.3%)と「少ないと感じる」(16.1%)を合わせた《多いと感じない》は53.4%となっている。

(2) 近所に外国籍市民が居住することについて

問2 あなたは、近所に外国籍市民が住むことについてどう思いますか。(1つに○)

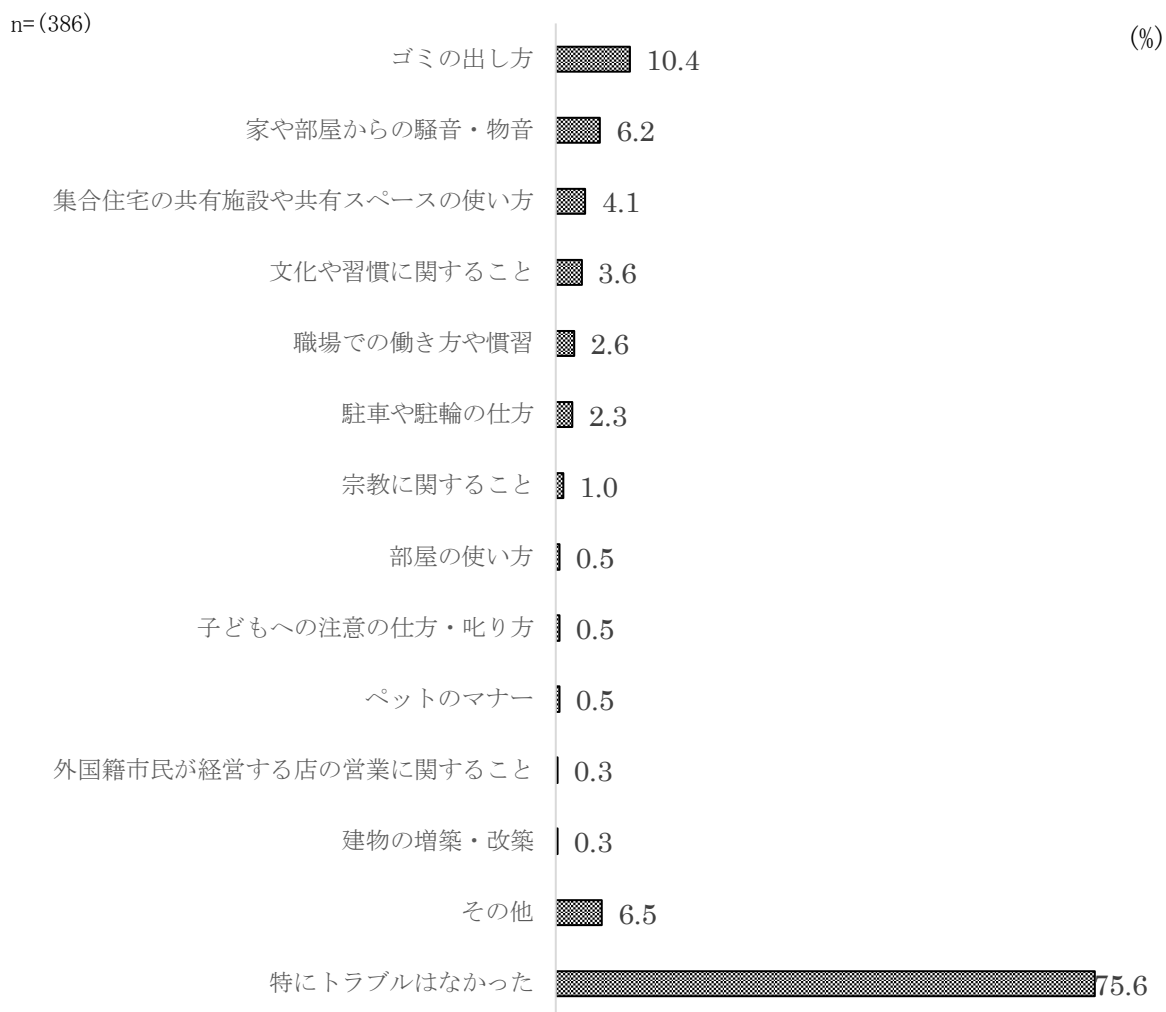
n=(386)



近所に外国籍市民が居住することについて、「好ましい」(4.9%)と「どちらかといえば好ましい」(7.3%)を合わせた《好ましい》は12.2%となっている。最も高いのは「どちらともいえない」(60.9%)である。「どちらかといえば好ましくない」(19.4%)と「好ましくない」(6.2%)を合わせた《好ましくない》は25.6%となっている。

(3) 外国籍市民とのトラブル等の経験

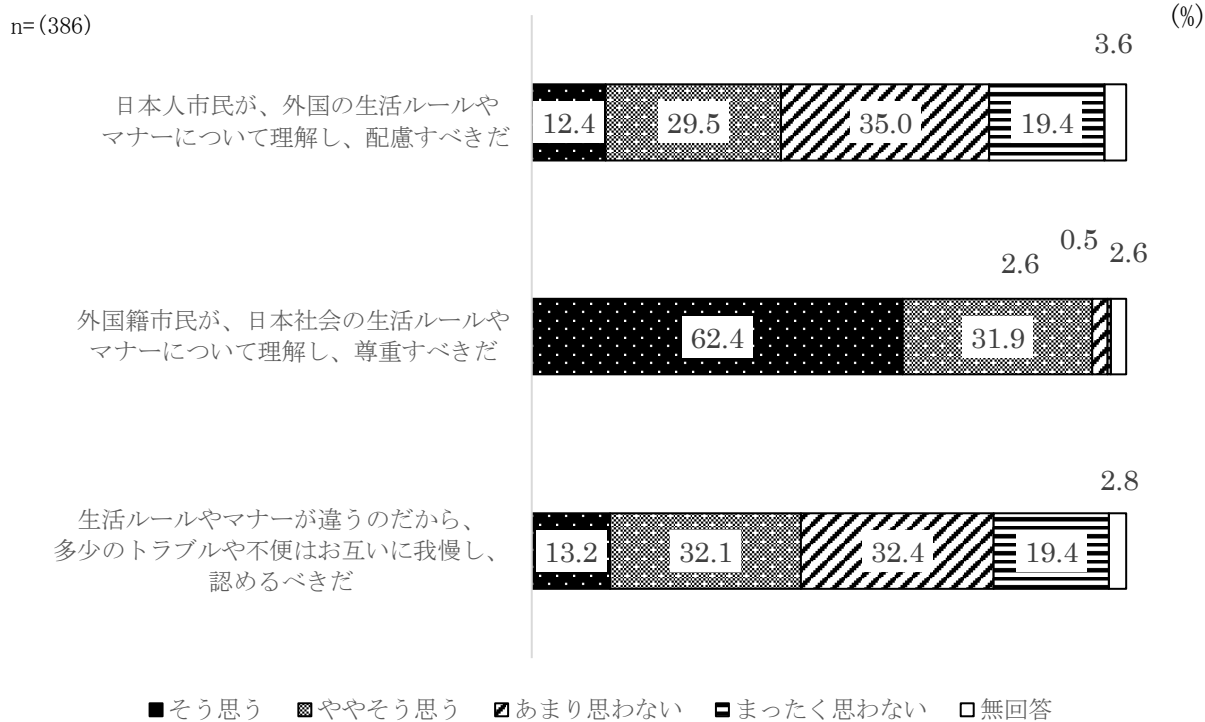
問3 あなたは、今までに外国籍市民との間でトラブルや言い争いがあったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



外国籍市民とのトラブル等の経験では、「特にトラブルはなかった」が75.6%となっている。トラブルの内容は、「ゴミの出し方」が10.4%で最も多く、次いで「家や部屋からの騒音・物音」が6.2%、「集合住宅の共有施設や共有スペースの使い方」が4.1%、「文化や習慣に関すること」が3.6%、「職場での働き方や慣習」が2.6%となっている。

(4) 外国籍市民の生活ルールやマナーが日本社会とは異なること

問4 外国籍市民の生活ルールやマナーが、日本社会の生活ルールやマナーと異なることに対して、あなたはどのように考えますか。
(A～Cそれぞれあてはまるもの1つに○)

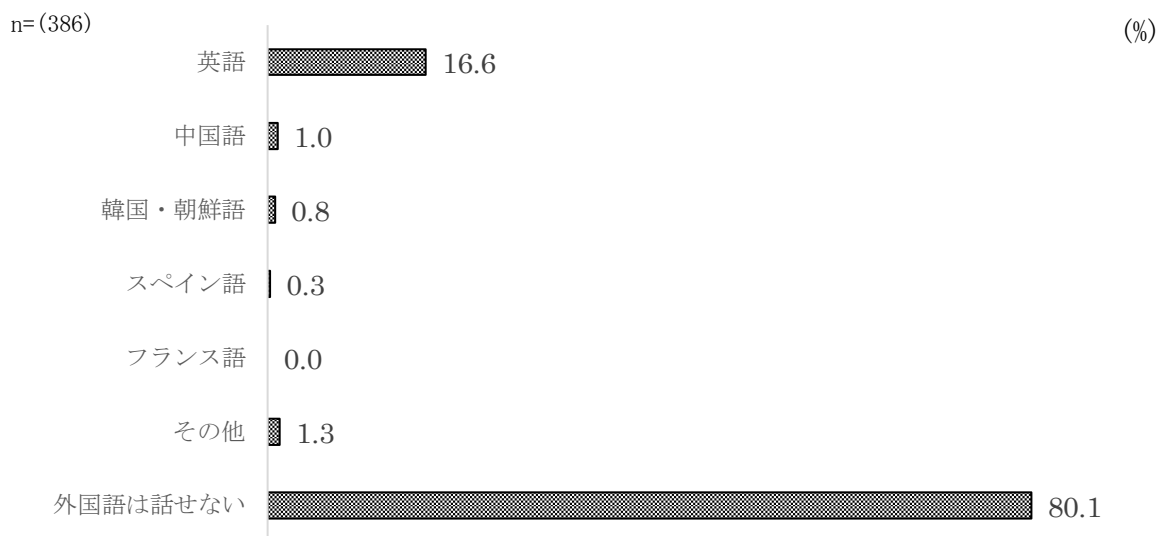


外国籍市民の生活ルールやマナーが日本社会とは異なることについて、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた《同意的》は、「日本人市民が外国の生活ルールを理解すべきだ」が41.9%、「外国籍市民が日本社会の生活ルールを理解すべきだ」が94.3%、「お互いに我慢し認めるべきだ」が45.3%となっている。

3. ことばについて

(1) 日常会話のできる外国語

問5 あなたは、外国語で日常会話ができますか。(あてはまるものすべてに○)



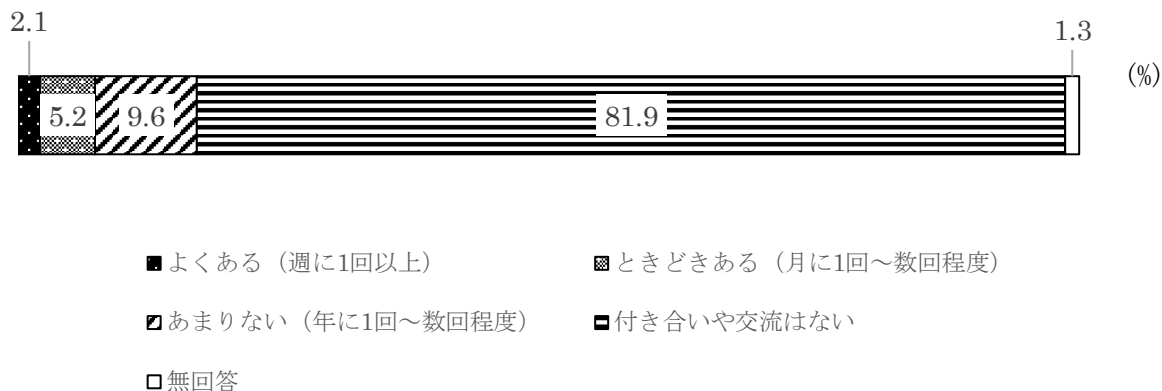
日常会話のできる外国語について具体的な内容をみると、「英語」が16.6%、「中国語」が1.0%となっているが、「外国語は話せない」が80.1%で約8割を占めている。

4. 地域での交流について

(1) 外国籍市民との交流や付き合い

問6 あなたは地域で外国籍市民との交流や付き合いがありますか。(1つに○)

n=(386)



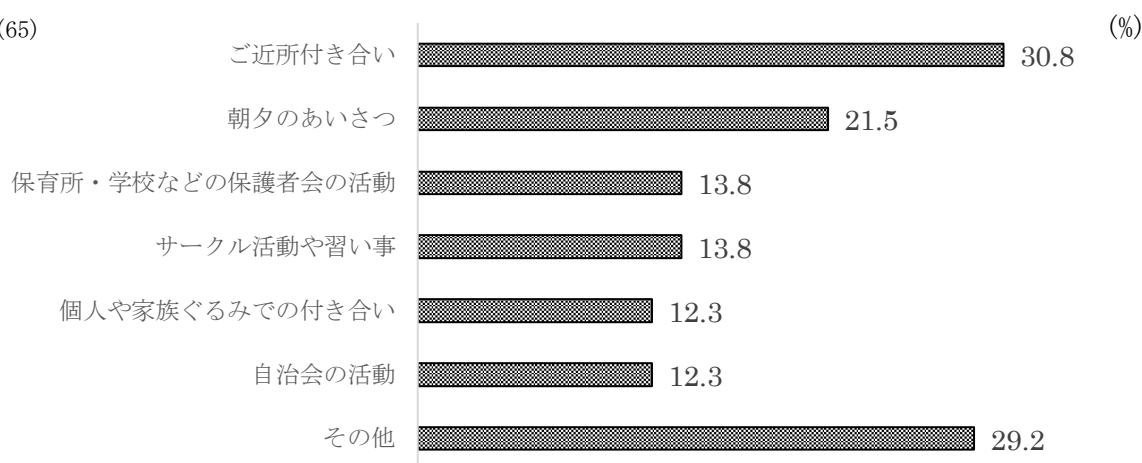
外国籍市民との交流や付き合いでは、「よくある (週に1回以上)」(2.1%)、「ときどきある (月に1回～数回程度)」(5.2%)、「あまりない (年に1回～数回程度)」(9.6%)を合わせた《ある》は16.9%となっている。一方、「付き合いや交流はない」は81.9%となっている。

(2) 交流や付き合いの機会の内容

【問6で「よくある (週に1回以上)」、「ときどきある (月に1回～数回程度)」、「あまりない (年に1回～数回程度)」とお答えの方に】

問6-1 どのような機会に交流やお付き合いがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

n=(65)

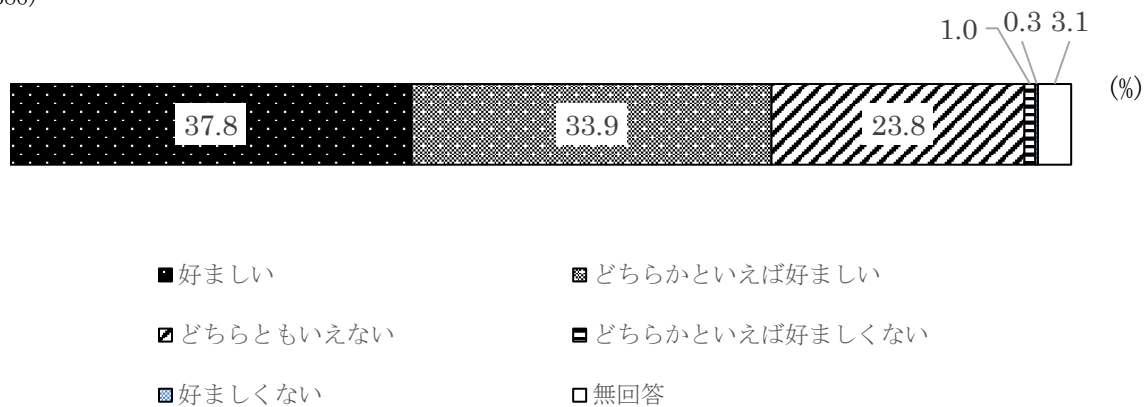


交流や付き合いの機会の内容では、「ご近所付き合い」が30.8%で最も高く、次いで「朝夕のあいさつ」が21.5%、「保育所・学校などの保護者会の活動」と「サークル活動や習い事」が13.8%、「個人や家族ぐるみでの付き合い」と「自治会の活動」が12.3%となっている。

(3) 外国籍市民が地域活動に参加すること

問7 あなたは、外国籍市民が地域の活動に参加することについてどう思いますか。
(1つに○)

n=(386)

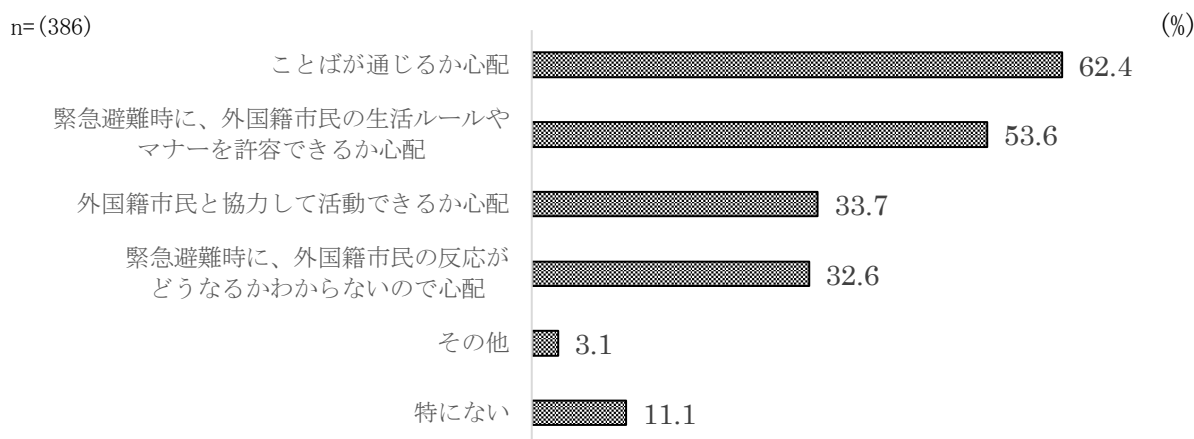


外国籍市民が地域活動に参加することでは、「好ましい」(37.8%)と「どちらかといえば好ましい」(33.9%)を合わせた《好ましい》は71.7%となっている。一方、「どちらかといえば好ましくない」(23.8%)と「好ましくない」(1.0%)を合わせた《好ましくない》は24.8%となっている。

5. 防災について

(1) 外国籍市民とともに避難する際の懸念

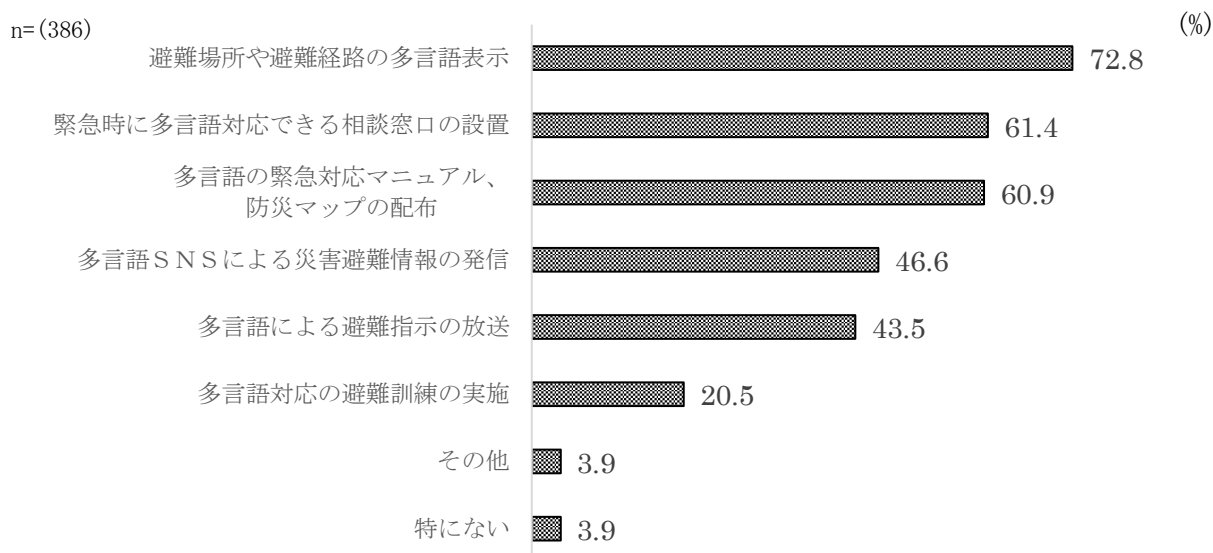
問8 地震などの災害があったときに、外国籍市民と避難所で一緒に過ごす際に、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



外国籍市民とともに避難する際の懸念では、「ことばが通じるか心配」が62.4%で最も高く、次いで「緊急避難時に、外国籍市民の生活ルールやマナーを許容できるか心配」が53.6%、「外国籍市民と協力して活動できるか心配」が33.7%、「緊急避難時に、外国籍市民の反応がどうなるかわからないので心配」が32.6%となっている。

(2) 緊急時に備えるために市役所に望む外国籍市民向け対策

問9 災害などの緊急時に備えるために、市役所にどのような外国籍市民向けの対策を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

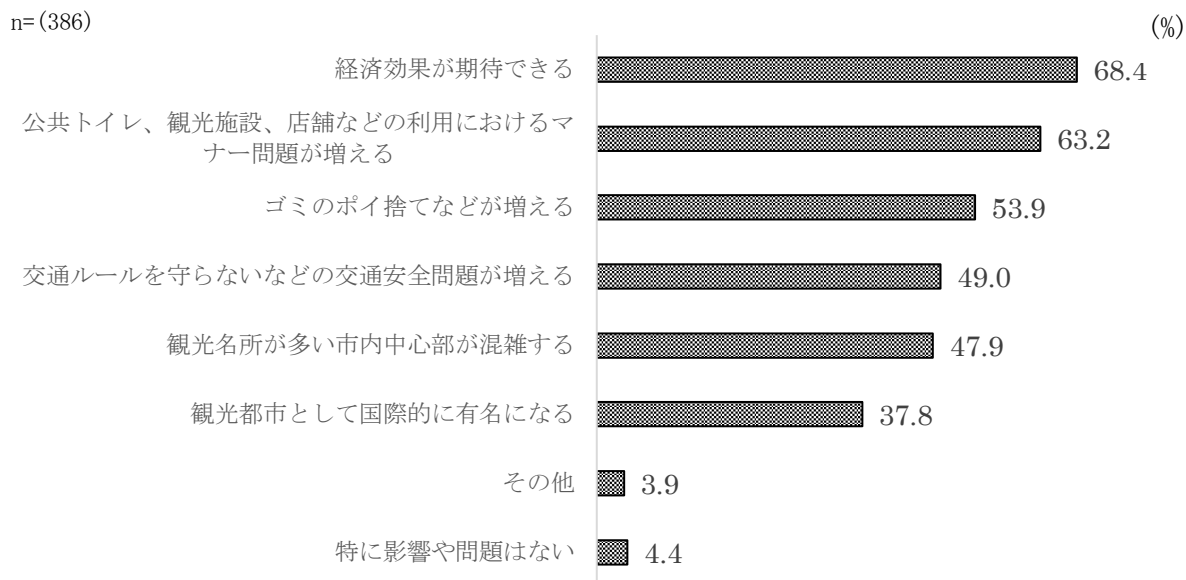


緊急時に備えるために市役所に望む外国籍市民向け対策では、「避難場所や避難経路の多言語表示」が72.8%で最も高く、次いで「緊急時に多言語対応できる相談窓口の設置」が61.4%、「多言語の緊急対応マニュアル、防災マップの配布」が60.9%、「多言語SNSによる災害避難情報の発信」が46.6%、「多言語による避難指示の放送」が43.5%となっている。

6. 外国人観光客について

(1) 市民目線で見た外国人観光客が増えることでの影響や問題

問10 川越市を訪れる外国人観光客が増えていることについて、受入れ側の市民からみてどんな影響や問題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



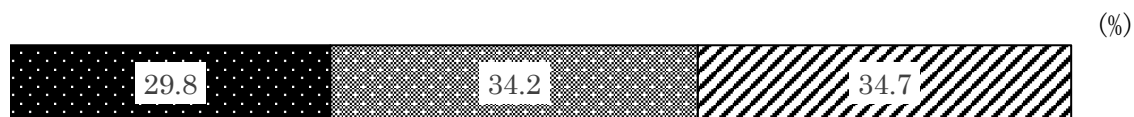
市民目線で見た外国人観光客が増えることでの影響や問題では、「経済効果が期待できる」が68.4%で最も高く、次いで「公共トイレ、観光施設、店舗などの利用におけるマナー問題が増える」が63.2%、「ゴミのポイ捨てなどが増える」が53.9%、「交通ルールを守らないなどの交通安全問題が増える」が49.0%、「観光名所が多い市内中心部が混雑する」が47.9%となっている。

7. 多文化共生のまちづくり

(1) 「多文化共生」の理解度

問11 あなたは「多文化共生」という言葉を知っていますか。(1つに○)

n=(386)



■意味も言葉も知っている ■言葉だけ聞いたことがある ▨知らない／聞いたことがない

「多文化共生」の理解度では、「意味も言葉も知っている」(29.8%)と「言葉だけ聞いたことがある」(34.2%)を合わせた《認知》は64.0%となっている。一方、「知らない／聞いたことがない」は34.7%となっている。

(2) 「多文化共生社会」のイメージ

【問11で「意味も言葉も知っている」、「言葉だけ聞いたことがある」とお答えの方に】

問11-1 川越市は「多文化共生社会」を目指していますが、「多文化共生社会」から浮かぶイメージを教えてください。(1つに○)

n=(247)



■いいことだと思う ■いいことばかりではないと思う ▨悪いことが多いと思う □わからない

「多文化共生社会」のイメージでは、「いいことばかりではないと思う」が59.5%で最も高く、次いで「いいことだと思う」が32.8%、「悪いことが多いと思う」が4.9%となっている。

(3) 川越市国際交流センターの認知

問12 あなたは、川越市国際交流センター（川越市菅原町23-10クラッセ川越5F）を知っていますか。（1つに○）

n=(386)



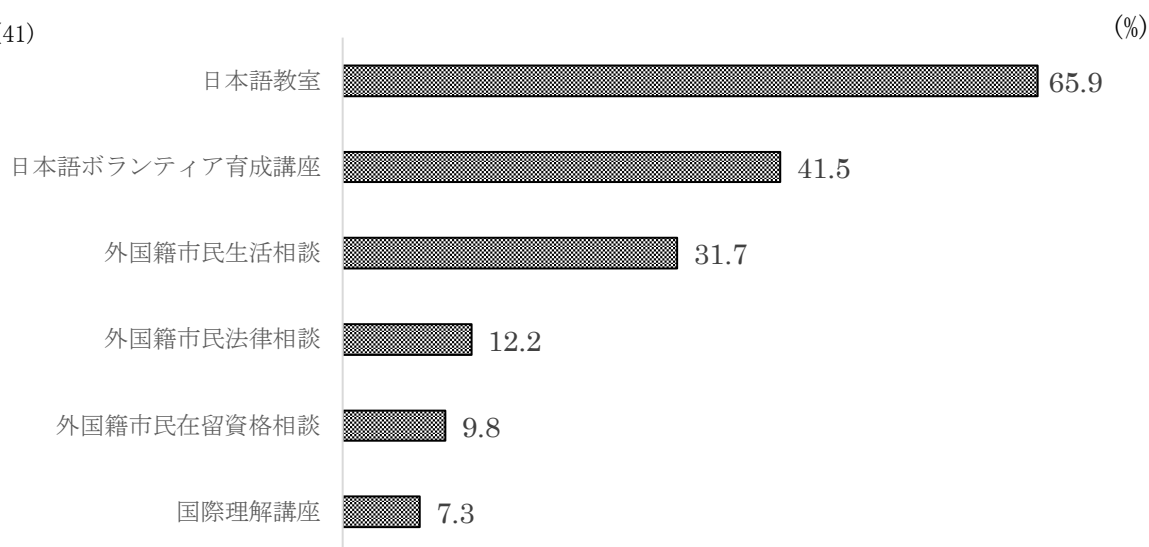
川越市国際交流センターの認知では、「知っている」が10.6%、「知らない」は88.3%で大半を占めている。

(4) 川越市国際交流センターで行っている事業等の認知

【問12で「知っている」とお答えの方に】

問12-1 川越市国際交流センターで行っている次の事業等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

n=(41)



川越市国際交流センターで行っている事業等の認知では、「日本語教室」が65.9%で最も高く、次いで「日本語ボランティア育成講座」が41.5%、「外国籍市民生活相談」が31.7%、「外国籍市民法律相談」が12.2%、「外国籍市民在留資格相談」が9.8%となっている。

（５）外国籍市民向けボランティアへの参加意向

問13 あなたは、外国籍市民向けのボランティアをしてみたいと思いますか。（１つに○）（活動例：通訳・翻訳ボランティア、日本語教室ボランティアなど）

n=(386)



- ぜひやってみたい
- ▨能力を生かせる分野があればやってみたい
- ▨機会があればやってみたい
- ▨やってみたいとは思わない
- 無回答

外国籍市民向けボランティアへの参加意向では、「ぜひやってみたい」（1.0%）、「能力を生かせる分野があればやってみたい」（9.1%）、「機会があればやってみたい」（19.4%）を合わせた《意向あり》は29.5%となっている。一方、「やってみたいとは思わない」は68.9%である。

（６）外国籍市民向けの日本語ボランティア教師としての意欲

問14 川越市国際交流センターで開催している日本語教室は、外国語が話せなくても教えることができます。あなたは、外国籍市民向けの日本語ボランティア教師をやってみたいと思いますか。（１つに○）

n=(386)

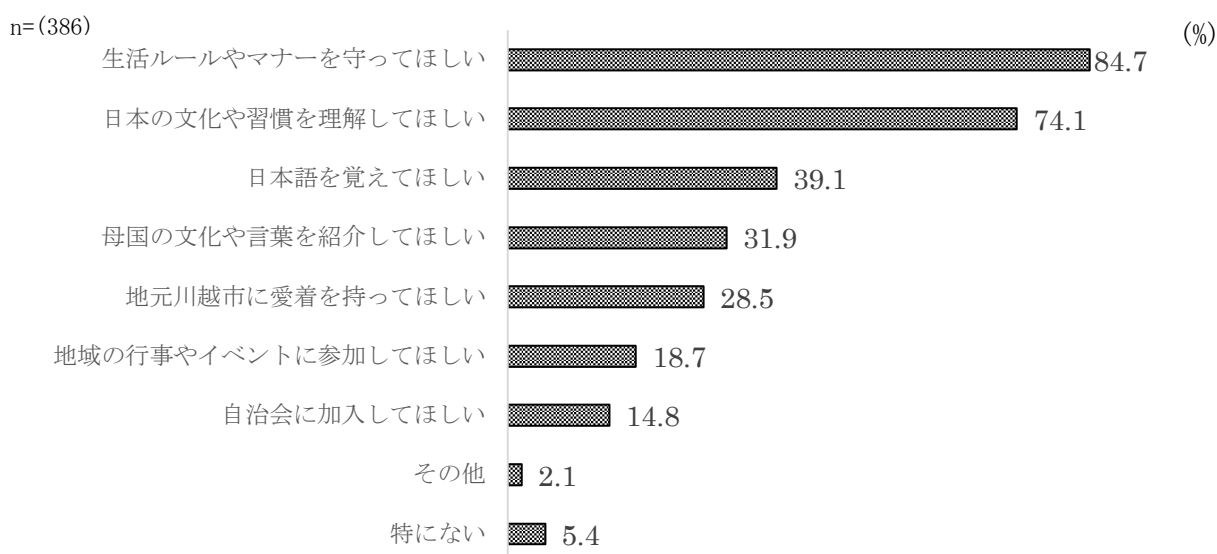


- ぜひやってみたい
- ▨研修を受けられるのであればやってみたい
- ▨有償ボランティアならやってみたい
- ▨やってみたいとは思わない
- 無回答

外国籍市民向けの日本語ボランティア教師としての意欲では、「ぜひやってみたい」（2.1%）、「研修を受けられるのであればやってみたい」（14.8%）、「有償ボランティアならやってみたい」（10.9%）を合わせた《意向あり》は27.8%となっている。一方、「やってみたいとは思わない」は70.7%となっている。

(7) 共にまちづくりをしていくため、外国籍市民に望むこと

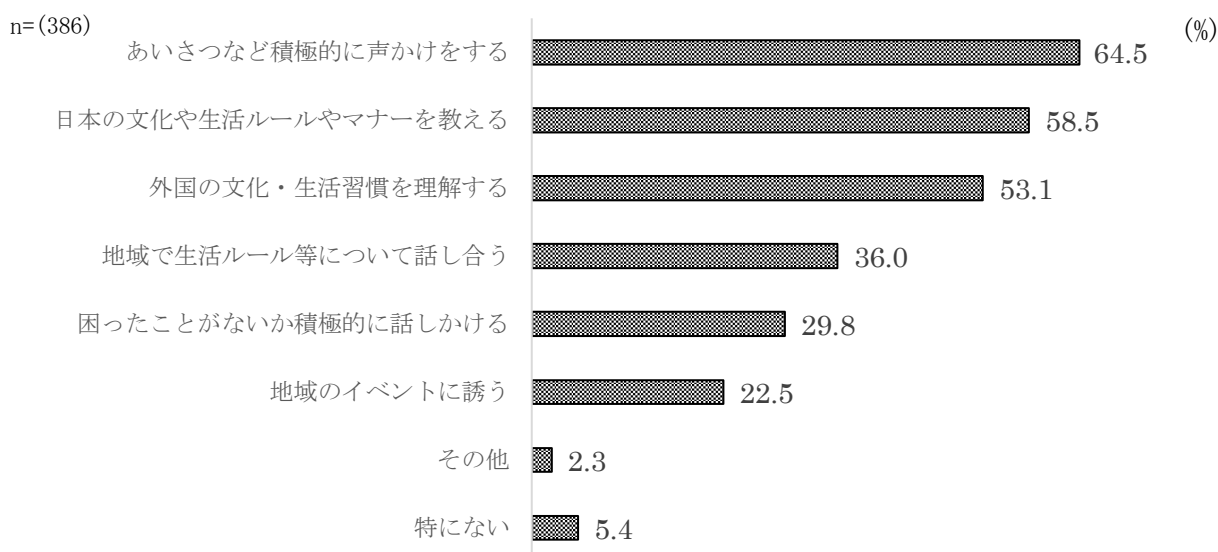
問15 あなたは、外国籍市民が地域の一員として共にまちづくりをしていくために、外国籍市民に対して何を望みますか。(あてはまるものすべてに○)



共にまちづくりをしていくため、外国籍市民に望むことでは、「生活ルールやマナーを守ってほしい」が84.7%で最も高く、次いで「日本の文化や習慣を理解してほしい」が74.1%、「日本語を覚えてほしい」が39.1%、「母国の文化や言葉を紹介してほしい」が31.9%、「地元川越市に愛着を持ってほしい」が28.5%となっている。

(8) まちづくりをしていく仲間になるために日本人市民ができること

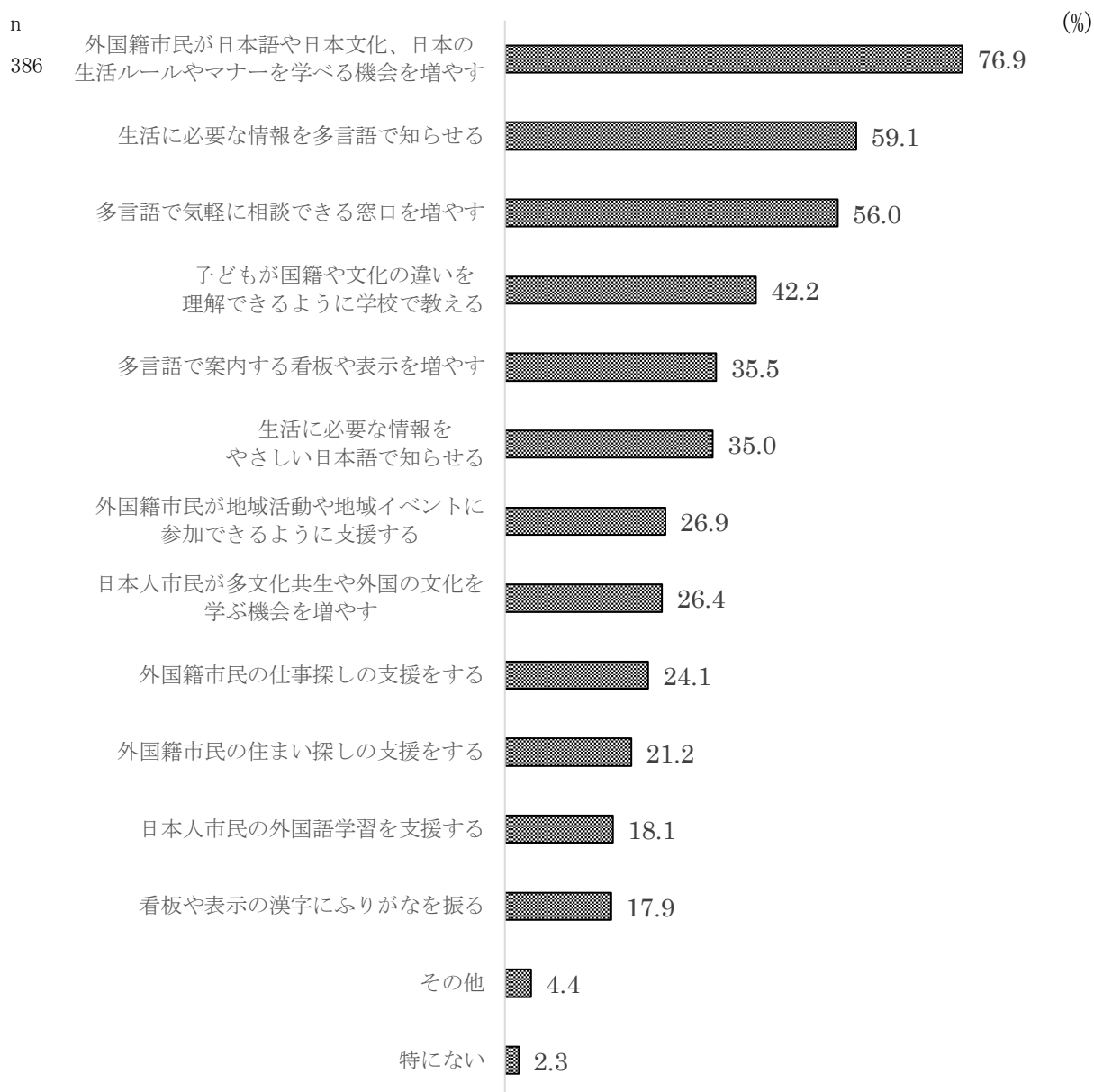
問16 あなたは、外国籍市民が共にまちづくりをしていく仲間になるために、日本人市民ができることは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



まちづくりをしていく仲間になるために日本人市民ができることでは、「あいさつなど積極的に声かけをする」が64.5%で最も高く、次いで「日本の文化や生活ルールやマナーを教える」が58.5%、「外国の文化・生活習慣を理解する」が53.1%、「地域で生活ルール等について話し合う」が36.0%、「困ったことがないか積極的に話しかける」が29.8%となっている。

(9) 多文化共生を推進するために市が力を入れて対応すべきこと

問17 多文化共生を推進するために、川越市が力を入れて対応すべきだと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



多文化共生を推進するために市が力を入れて対応すべきことでは、「外国籍市民が日本語や日本文化、日本の生活ルールやマナーを学べる機会を増やす」が76.9%で最も高く、次いで「生活に必要な情報を多言語で知らせる」が59.1%、「多言語で気軽に相談できる窓口を増やす」が56.0%、「子どもが国籍や文化の違いを理解できるように学校で教える」が42.2%、「多言語で案内する看板や表示を増やす」が35.5%となっている。

8. その他

(1) 自由意見

問22 外国籍市民との共生のあり方について、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。(自由記述)

外国籍市民との共生のあり方に関してのご意見として、102 人から回答が寄せられた。なお、1 人で2 つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

内容	件数
外国人と共生のあり方	26
行政の対応・要望	15
外国籍住民に対しての不安・不満	13
外国籍住民に対して望むこと	12
交流の場	9
治安対策	8
外国籍住民に対するサポート	8
学校生活でのサポート	3
その他	14

計 108 件

第4章 調査票

多文化共生*に関する市民意識調査

このアンケートは、川越市が送りました。

川越市は「すべての市民がかがやく多文化共生のまちづくり」をしています。
市民から意見を聞いて、今後の政策の資料にするためにアンケートをします。

このアンケートは、18歳以上の外国籍市民の中から、抽選で2,000人を選んで送りました。日本人には別のアンケートをします。

アンケートに協力をしてください。

2024年10月

川越市長 川合 善明

答えるときのお願い

- 1 このアンケートは、出入国管理とは関係ありません。
- 2 あなたが答えたことは、他の人にはわかりません。
- 3 答える人は、封筒に書いてある名前の人です。
- 4 日本語とその他の言語の2種類を送りました。日本語ではインターネットで答えることもできます。1つだけ選んで答えてください。インターネットで答える人は、最後のページを見てください。

【郵送で答える場合】

- ① 答えるときは、数字に○を書いてください。
<例> ① 職場や学校が近い 2. 社宅や社員の寮がある
- ② 答えたあとは、このアンケートと一緒に入っていた封筒に入れて、郵便ポストに入れてください。切手は要りません。11月15日(金)までに送ってください。

問い合わせ(日本語)

川越市役所 国際文化交流課

電話 049-224-5506 FAX 049-224-8712

受付時間：月曜日～金曜日(祝日を除く)

午前8時30分～12時/午後1時～5時15分

*多文化共生：他の国の文化を認め、同じ地域で一緒に生きていくこと。

暮らしについて

問1 あなたが、川越市に住む理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場や学校が近い	7. 病院などの医療施設が整っている
2. 社宅や会社の寮がある	8. 部屋を借りるなど生活にかかる費用が安い
3. 家族や親族が住んでいる	9. 犯罪などが少なく安心して暮らせる
4. 友達・知り合いが住んでいる	10. 自然環境がよい
5. 子育てがしやすい	11. その他
6. 交通のアクセスがよい	

問2 あなたにとって、川越市は住みやすいところだと思いますか。(1つに○)

1. 住みやすい	3. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みやすい	4. 住みにくい

▶【問2で「3. どちらかといえば住みにくい」又は「4. 住みにくい」とお答えの方は答えてください。】

問2-1 なぜ住みにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 困りごとを相談できる所が少ない	8. 交通のアクセスが悪い
2. 住む家を見つけにくい	9. 買い物が不便
3. 病院に行きにくい	10. 家賃が高い
4. 仕事を見つけにくい	11. 水道料金が安い
5. 子育てがしにくい	12. 近くに住民たちとの付き合いがない
6. 生活に必要な情報を得にくい	13. その他
7. 犯罪が多く安心して暮れない	

問3 あなたが、普段の生活で困っていることや不安なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日本語でのコミュニケーション	7. 税金や保険	13. 老後のこと
2. 仕事・職場	8. 病気のケア	14. 買い物
3. 住む家	9. 地震など災害時の対応	15. 給与・収入
4. 在留資格やビザ	10. 近くに住民との付き合い	16. 日本人からの差別
5. 出産・子育て	11. 生活情報の入手	17. その他
6. 子どもの学校・教育・PTA	12. 文化・風習	18. 特になし

ことばについて

問4 あなたの第一言語（一番得意な言語）はどれですか。（1つに○）

1. 日本語	5. ネパール語	9. インドネシア語
2. 英語	6. タガログ語	10. ベンガル語
3. 中国語	7. 韓国・朝鮮語	11. タイ語
4. ベトナム語	8. ポルトガル語	12. その他

問5 あなたはどのくらい日本語ができますか。（A～Dそれぞれについて1つに○）

	よくできる	まあまあできる	あまりできない	できない
A. 話す	1	2	3	4
B. 聞く	1	2	3	4
C. 読む	1	2	3	4
D. 書く	1	2	3	4

問6 あなたは、日本語を勉強していますか（勉強したいですか）。（1つに○）

1. 勉強している	3. 勉強したいと思わない
2. これから勉強したい	

【問6で「1. 勉強している」又は「2. これから勉強したい」とお答えの方は答えてください。】

問6-1 どのような方法で勉強していますか（勉強したいですか）。

（あてはまるものすべてに○）

1. 大学・日本語学校	4. 友達・知り合いに教えてもらう
2. 川越市国際交流センターの日本語教室	5. その他
3. 自分で勉強する	

じょうほう にゆうしゆ ていきよう 情報の入手および提供について

問7 あなたは、川越市の情報をどのように知りますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 日本^{にほん}の新聞・雑誌・テレビなど 2. インターネット、SNS 3. 広報川越^{こうほうかわごえ} 4. 市役所や市関連施設などの窓口^{しやくしよ しかんれんしせつ まどぐち} 5. 市のホームページや市の公式SNS^{し ほーむぺーじ し こうしき SNS} (X/Facebook/LINE/Instagram) 6. Koedo Kawagoe News^{こえどかわごえ} (英語とやさしい日本語の広報川越)	7. 家族^{かぞく} 8. 職場・学校^{しよくば がっこう} 9. 日本人の友達や知り合い^{にほんじん ともだち し あい} 10. 同じ国や地域の友達や知り合い^{おな くに ちい き ともだち し あい} 11. NPO団体 (Non-Profit Organization、 社会貢献活動を行う団体)^{しゃかいこうけんかつどう せかい だんたい} 12. 自分の国や地域の新聞・雑誌^{じぶん くに ちい き しんぶん ざっし} 13. その他^た
--	---

問8 あなたは、市役所や市民センターの窓口で困ったことや心配なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示が日本語なので、どこに行けばよいか、分からない^{あんないひょうじ にほんご い} 2. 受付の手続きを、どのようにすればよいか、分からない^{うけつけ てつづ} 3. 日本語が分からなくて、職員と話ができない^{にほんご わ しょくいん はなし} 4. 申込書などの日本語が難しいため、内容が分からない^{もうしこみしよ にほんご じふずか ないよう} 5. その他^た 6. 困ったことはない^{こま}

問9 あなたは、川越市のどのような情報を必要としていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 防災や地震^{ぼうさい じしん} 2. 医療や保険^{いりよう ぼけん} 3. 税金や年金^{ぜいきん ねんきん} 4. 福祉 (障害者・高齢者・介護など)^{ふくし しやうがいしや こうれいしや かいご} 5. 子育てや教育^{こそだ けいよういく} 6. 雇用や就職^{こよう しゅうしよく} 7. ごみの出し方やリサイクル^{ごみ しかた りさいくる}	8. お祭りやイベント^{まつ いべんと} 9. 自治会^{じちかい} 10. 日本語教室^{にほんごきょうしつ} 11. 市の施設^{し しせつ} 12. その他^た 13. 特にない^{とく}
--	---

問10 あなたは、川越市の情報^{じょうほう}を入手^{にゅうしゅ}するのに、どの言語^{げんご}だとわかりますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. やさしい日本語 ^{にほんご}	3. 第一言語 ^{だいいちげんご} (一番得意な言語 ^{いちばんとくい げんご})
2. 英語 ^{えいご}	

医療・保険・福祉^{いりよう ほけん ふくし}について

問11 あなたは、次の行政サービス^{ぎょうせいサービス}について聞いたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 国民健康保険 ^{こくみんけんこうほけん}	7. 乳幼児医療費の助成 ^{にゅうよういりようひ じょせい}
2. 国民年金 ^{こくみんねんきん}	8. 児童手当の支給 ^{じどうてあて しきぎょう}
3. 介護保険 ^{かいごほけん}	9. 定期予防接種 ^{ていきよぼうせつしゅ}
4. 市営住宅の入居 ^{しえいじゅうたく にゅうきょ}	10. 乳幼児健診 ^{にゅうようじけんしん}
5. 生活保護費の支給 ^{せいかつほごひ しきぎょう}	11. がん検診 ^{がんけんしん}
6. 母子健康手帳の発行 ^{ぼしけんこうてあよう はつこう}	12. 虐待やDVの相談 ^{ぎゃくたい そうだん}

防災^{ぼうさい}について

問12 あなたは地震^{じしん}、台風^{たいふう}、大雨^{おおあめ}について、どのような準備^{じゅんび}をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所からの情報 ^{じやくしょ じょうほう} を得る方法 ^{え ほうほう} (ホームページ ^{ほーむぺーじ} など)を知っている
2. 市のハザードマップ ^{し はざーど まっぷ} を持っている
3. 災害 ^{さいがい} が起こったときに行く避難場所 ^{お ひなんばしょ} (近くの学校 ^{がっこう} や公園 ^{こうえん})を知っている
4. 食べ物 ^{た もの} や飲み物 ^{の もの} 、防災グッズ ^{ぼうさいぐっず} を用意 ^{ようい} している
5. 家具 ^{かぐ} などを固定 ^{こてい} し、倒れないようにしている
6. 防災訓練 ^{ぼうさいくれん} などの防火・防災行事 ^{ぼうさいぎょうじ} に参加 ^{さんか} している
7. 近所 ^{きんじょ} の人たちとあいさつや話 ^{はなし} をして、知り合い ^{し あ} になっている
8. 家族 ^{かぞく} と緊急時 ^{きんきゅうじ} の連絡方法 ^{れんらくほうほう} や集まる場所 ^{あつ まるばしょ} を決めている
9. その他 ^た
10. 何も ^{なに} していない

たぶん かきょうせい
多文化共生のまちづくり

問13 あなたは住んでいる地域の自治会に加入していますか。(1つに○)

1. 加入している	2. 加入していない	3. 自治会の存在自体知らない
-----------	------------	-----------------

【問13で「2. 加入していない」「3. 自治会の存在自体知らない」とお答えの方は答え
てください。】

問13-1 自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 加入するよう誘われたことがない	5. 自治会に参加するのが面倒くさい
2. 自治会の役割や意味を知らない	6. 加入のしかたが、分からない
3. 自治会の活動に参加できないから	7. 自治会費が高い
4. 加入するメリットが分からない	8. その他

問14 地域の中で自分がやってみたい活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会の活動に参加したい
2. お祭りなど地域の行事に参加したい
3. サークル活動や習い事に参加したい
4. 保育所・幼稚園・学校などの保護者会の行事に参加したい
5. 自分の国・地域の言葉を日本人に教えたい
6. 自分の国・地域の文化や料理を日本人に教えたい
7. 外国人住民の生活を支援したい
8. 通訳・翻訳をしたい
9. その他
10. 特にない

問15 日本人市民とのトラブルや言い争いが起こったことがある方は、どのような場面や分野で起こりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. ごみの出し方	8. 職場での働き方やルール
2. 家や部屋からの騒音・物音	9. ペットのマナー
3. 集合住宅の共有施設や共有スペースの使い方	10. 建物の増築・改築
4. 部屋の使い方	11. 宗教に関すること
5. 子どもに関すること	12. 文化や習慣に関すること
6. 車や自転車とのめ方	13. その他
7. 店の営業の仕方に関すること	14. トラブルになったことはない

問16 あなたは、日常生活で差別や偏見を感じたことはありますか。(1つに○)

1. よくある	3. たまにある	5. 分からない
2. ときどきある	4. まったくない	

【問16で「1. よくある」「2. ときどきある」、「3. たまにある」とお答えの方は答えてください。】

問16-1 それはどのようなときでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住む家を探すとき	9. 学校に行っているとき (PTAを含む)
2. 電車やバスを使うとき	10. 日本人と結婚したとき
3. 仕事を探すとき	11. 市役所などでの手続きのとき
4. 買い物、レストランで食事をするとき	12. 法制度上の外国人のあつかい
5. 仕事をしているとき	13. 近くに住む日本人とのつきあい
6. 職場での人間関係	14. その他
7. 給与・待遇	
8. 学校に入学するとき	

問17 川越市国際交流センターで行っている次の事業等を聞いたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日本語教室	4. 在留資格相談
2. 外国人法律相談	5. 国際理解講座の開催
3. 外国人生活相談	

問18 あなたは、川越市がどのような取り組みをすれば、あなたを含む外国籍市民にとって暮らしやすいまちになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外国籍市民が日本語や日本文化、日本の生活ルールやマナーを学べる機会を増やす
2. 生活に必要な情報をいろいろな国のことばで知らせる
3. 生活に必要な情報をやさしい日本語で知らせる
4. いろいろな国のことばで気軽に相談できる窓口を増やす
5. いろいろな国のことばで案内する看板や表示を増やす
6. 看板や表示の漢字にひらがなをつける
7. 仕事探しの支援をする
8. 住む家を探す支援をする
9. 地域活動に参加できるような支援をする
10. 日本人市民が多文化共生や外国の文化を学ぶ機会を増やす
11. 日本人市民の外国語学習の機会を増やす
12. 子どもが国による文化の違いを理解できるような教育を学校で行う
13. その他

あなたのことについて

問19 あなたの生まれた年(西暦)を記入してください。

西暦 年生まれ

問20 あなたの国籍を教えてください。
(1つに○。二重国籍の人は、2つに○。)

1. 中国	7. インドネシア	13. ベルギー	19. イギリス
2. ベトナム	8. バングラデシュ	14. 台湾	20. マレーシア
3. ネパール	9. タイ	15. モンゴル	21. その他
4. フィリピン	10. ミャンマー	16. パキスタン	
5. 韓国・朝鮮	11. アメリカ	17. インド	
6. ブラジル	12. スリランカ	18. カンボジア	

問21 あなたの日本での在留資格を教えてください。(1つに○)

1. 永住者	6. 定住者	12. 経営・管理	18. 介護
2. 留学	7. 特定技能	13. 教育	19. 宗教
3. 家族滞在	8. 日本人の配偶者等	14. 高度専門職	20. その他
4. 技術・人文知識・国際業務	9. 特定活動	15. 教授	
5. 技能実習	10. 技能	16. 企業内転勤	
	11. 永住者の配偶者等	17. 医療	

問22 あなたは何年日本に住んでいますか。(1つに○)

1. 1年未満	4. 10年以上20年未満
2. 1年以上5年未満	5. 20年以上
3. 5年以上10年未満	

問23 あなたのお仕事は、以下の中のどれにあたりますか。(1つに○)

1. 自営業主または家族従業者	6. 専業主婦・専業主夫(パート、内職、家族従業をしていない方)
2. 経営者、会社・団体役員	7. 学生(アルバイトをしている方)
3. 正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員・教員を含む)	8. 学生(アルバイトをしていない方)
4. 派遣社員、契約社員、請負・委託業務	9. 無職(専業主婦・専業主夫以外の方、学生以外の方)
5. 臨時雇用、パート、アルバイト	10. その他

問24 あなたの住んでいる地区はどこですか。封筒の名前のシールに書いてあるものを選んでください。(1つに○)

1. 本庁管内	7. 大東地区
2. 芳野地区	8. 霞ヶ関地区
3. 古谷地区	9. 川鶴地区
4. 南古谷地区	10. 霞ヶ関北地区
5. 高階地区	11. 名細地区
6. 福原地区	12. 山田地区

質問は以上です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

多文化共生に関する市民意識調査

－ 川越市に住んでいる日本人市民の方への意識調査 －

～アンケート調査ご協力をお願い～

日頃より、本市の国際化推進にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本市には、82 か国、約 10,000 人（2024 年 3 月現在）の外国籍市民が生活しており、「すべての市民がかがやく多文化共生のまちづくり」を進めております。

このたび、市民の皆様からご意見を伺い、今後の施策の資料として活用させていただくため、「多文化共生に関する市民意識調査」を行います。

調査の対象として、住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の日本人市民の方から 1,000 人を無作為に選ばせていただきました。外国籍の方には、別の調査を行います。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

2024 年 10 月

川越市長 川合 善明

回答にあたってのお願い

1. 調査結果は、統計的に処理しますので、個人を特定したかたちで公表されることは一切ございません。また、川越市をより住みやすいまちにするための資料にのみ使用し、それ以外の目的には使用しません。
2. 必ず封筒の宛名のご本人様が回答してください。
3. 回答は、郵送またはインターネットのどちらかでお願ひいたします。
4. インターネットで回答される方は、最終ページの「インターネットでの回答方法」をご覧ください。

【郵送で回答される場合】

- ① ご回答は、当てはまる答えの番号に○をつけてください。
- ② 設問により、ご回答いただく○の数を（1 つに○）（あてはまるものすべてに○）などと指定していますので、それに従ってご記入ください。
- ③ 「その他」に○をつけた場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ④ ボールペンまたは濃い鉛筆でご記入ください。
- ⑤ ご回答が終わったら、**11 月 15 日（金）までに** 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。

お問い合わせ先

川越市役所 文化スポーツ部 国際文化交流課

電話 049-224-5506 FAX 049-224-8712

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）

午前 8 時 30 分～12 時/午後 1 時～5 時 15 分

暮らしについて

問 1 あなたの住んでいる地域には外国籍市民が多いと感じますか。(1つに○)

1. 多いと感じる	4. 少ないと感じる
2. ある程度多いと感じる	5. わからない
3.それほど多いとは感じない	

問 2 あなたは、近所に外国籍市民が住むことについてどう思いますか。(1つに○)

1. 好ましい	4. どちらかといえば好ましくない
2. どちらかといえば好ましい	5. 好ましくない
3. どちらともいえない	

問 3 あなたは、今までに外国籍市民との間でトラブルや言い争いがあったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ゴミの出し方	8. 職場での働き方や慣習
2. 家や部屋からの騒音・物音	9. ペットのマナー
3. 集合住宅の共有施設や共有スペースの使い方	10. 建物の増築・改築
4. 部屋の使い方	11. 宗教に関すること
5. 駐車や駐輪の仕方	12. 文化や習慣に関すること
6. 子どもへの注意の仕方・叱り方	13. その他()
7. 外国籍市民が経営する店の営業に関すること	14. 特にトラブルはなかった

問 4 外国籍市民の生活ルールやマナーが、日本社会の生活ルールやマナーと異なることに
対して、あなたはどのように考えますか。(A～Cそれぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない
A. 日本人市民が、外国の生活ルール やマナーについて理解し、配慮すべきだ	1	2	3	4
B. 外国籍市民が、日本社会の生活 ルールやマナーについて理解し、尊重すべきだ	1	2	3	4
C. 生活ルールやマナーが違うのだから、多少のトラブルや不便はお互いに我慢し、認めるべきだ	1	2	3	4

ことばについて

問 5 あなたは、外国語で日常会話ができますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 英語	4. スペイン語	7. 外国語は話せない
2. 中国語	5. フランス語	
3. 韓国・朝鮮語	6. その他 ()	

地域での交流について

問 6 あなたは地域で外国籍市民との交流や付き合いがありますか。(1つに○)

1. よくある(週に1回以上)	3. あまりない(年に1回～数回程度)
2. ときどきある(月に1回～数回程度)	4. 付き合いや交流はない

→【問6で「1～3」とお答えの方に】

問 6-1 どのような機会に交流やお付き合いがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 個人や家族ぐるみでの付き合い	5. サークル活動や習い事
2. ご近所付き合い	6. 朝夕のあいさつ
3. 自治会の活動	7. その他
4. 保育所・学校などの保護者会の活動	()

問 7 あなたは、外国籍市民が地域の活動に参加することについてどう思いますか。
(1つに○)

1. 好ましい	4. どちらかといえば好ましくない
2. どちらかといえば好ましい	5. 好ましくない
3. どちらともいえない	

防災について

問 8 地震などの災害があったときに、外国籍市民と避難所で一緒に過ごす際に、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ことばが通じるか心配
2. 外国籍市民と協力して活動できるか心配
3. 緊急避難時に、外国籍市民の生活ルールやマナーを許容できるか心配
4. 緊急避難時に、外国籍市民の反応がどうなるかわからないので心配
5. その他 ()
6. 特になし

問 9 災害などの緊急時に備えるために、市役所にどのような外国籍市民向けの対策を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 避難場所や避難経路の多言語表示
2. 多言語による避難指示の放送
3. 緊急時に多言語対応できる相談窓口の設置
4. 多言語の緊急対応マニュアル、防災マップの配布
5. 多言語対応の避難訓練の実施
6. 多言語SNSによる災害避難情報の発信
7. その他 ()
8. 特にない

外国人観光客について

問 10 川越市を訪れる外国人観光客が増えていることについて、受入れ側の市民から見てどんな影響や問題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 経済効果が期待できる
2. 観光都市として国際的に有名になる
3. ゴミのポイ捨てなどが増える
4. 公共トイレ、観光施設、店舗などの利用におけるマナー問題が増える
5. 交通ルールを守らないなどの交通安全問題が増える
6. 観光名所が多い市内中心部が混雑する
7. その他 ()
8. 特に影響や問題はない

多文化共生*のまちづくり

問 11 あなたは「多文化共生」という言葉を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 意味も言葉も知っている | 3. 知らない／聞いたことがない |
| 2. 言葉だけ聞いたことがある | |

【問 11 で「1～2」とお答えの方に】

→ 問 11-1 川越市は「多文化共生社会」を目指していますが、「多文化共生社会」から浮かぶイメージを教えてください。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. いいことだと思う | 3. 悪いことが多いと思う |
| 2. いいことばかりではないと思う | 4. わからない |

*多文化共生とは：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

問 12 あなたは、川越市国際交流センター（川越市菅原町 23-10 クラッセ川越 5 F）を知っていますか。（1つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【問 12 で「1. 知っている」とお答えの方に】

問 12-1 川越市国際交流センターで行っている次の事業等について知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 日本語教室 | 4. 外国籍市民在留資格相談 |
| 2. 外国籍市民生活相談 | 5. 国際理解講座 |
| 3. 外国籍市民法律相談 | 6. 日本語ボランティア育成講座 |

問 13 あなたは、外国籍市民向けのボランティアをしてみたいと思いますか。（1つに○）
（活動例：通訳・翻訳ボランティア、日本語教室ボランティアなど）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. ぜひやってみたい | 3. 機会があればやってみたい |
| 2. 能力を生かせる分野があればやってみたい | 4. やってみたいとは思わない |

問 14 川越市国際交流センターで開催している日本語教室は、外国語が話せなくても教えることができます。あなたは、外国籍市民向けの日本語ボランティア教師をやってみたいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. ぜひやってみたい | 3. 有償ボランティアならやってみたい |
| 2. 研修を受けられるのであればやってみたい | 4. やってみたいとは思わない |

問 15 あなたは、外国籍市民が地域の一員として共にまちづくりをしていくために、外国籍市民に対して何を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 生活ルールやマナーを守ってほしい | 6. 地元川越市に愛着を持ってほしい |
| 2. 日本の文化や習慣を理解してほしい | 7. 母国の文化や言葉を紹介してほしい |
| 3. 日本語を覚えてほしい | 8. その他（ ） |
| 4. 地域の行事やイベントに参加してほしい | 9. 特にない |
| 5. 自治会に加入してほしい | |

問 16 あなたは、外国籍市民が共にまちづくりをしていく仲間になるために、日本人市民ができることは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. あいさつなど積極的に声かけをする	5. 困ったことがないか積極的に話しかける
2. 外国の文化・生活習慣を理解する	6. 地域で生活ルール等について話し合う
3. 日本の文化や生活ルールやマナーを教える	7. その他 ()
4. 地域のイベントに誘う	8. 特にない

問 17 多文化共生を推進するために、川越市が力を入れて対応するべきだと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外国籍市民が日本語や日本文化、日本の生活ルールやマナーを学べる機会を増やす
2. 生活に必要な情報を多言語で知らせる
3. 生活に必要な情報をやさしい日本語で知らせる
4. 多言語で気軽に相談できる窓口を増やす
5. 多言語で案内する看板や表示を増やす
6. 看板や表示の漢字にふりがなを振る
7. 外国籍市民の仕事探しの支援をする
8. 外国籍市民の住まい探しの支援をする
9. 外国籍市民が地域活動や地域イベントに参加できるように支援する
10. 日本人市民が多文化共生や外国の文化を学ぶ機会を増やす
11. 日本人市民の外国語学習を支援する
12. 子どもが国籍や文化の違いを理解できるように学校で教える
13. その他 ()
14. 特にない

あなたのことについて

問 18 あなた（ご回答いただく方）の性別と年齢を教えてください。(それぞれ1つに○)

1. 男性	1. 18～19 歳	3. 30～39 歳	5. 50～59 歳	7. 70 歳以上
2. 女性	2. 20～29 歳	4. 40～49 歳	6. 60～69 歳	
3. その他・答えない				

問 19 現在お住まいの地区はどこですか。お送りした封筒の宛名ラベルにある名称をご確認の上、選んでください。(1つに○)

1. 本庁管内	4. 南古谷地区	7. 大東地区	10. 霞ヶ関北地区
2. 芳野地区	5. 高階地区	8. 霞ヶ関地区	11. 名細地区
3. 古谷地区	6. 福原地区	9. 川鶴地区	12. 山田地区

問 20 川越市にお住まいの年数はどのくらいですか。(1つに○)

1. 1年未満	3. 5年以上～10年未満
2. 1年以上～5年未満	4. 10年以上

問 21 あなたのお仕事は以下の中のどれに該当しますか。(1つに○)

1. 自営業主または家族従業者
2. 会社経営者、会社・団体役員
3. 正規雇用されている一般社員、一般職員（公務員・教員を含む）
4. 派遣社員、契約社員、請負・委託業務
5. 臨時雇用、パート、アルバイト
6. 専業主婦・専業主夫（パート、内職、家族従業をしていない方）
7. 学生（アルバイトをしている方）
8. 学生（アルバイトをしていない方）
9. 無職（専業主婦・専業主夫以外の方、学生以外の方）
10. その他（ ）

問 22 外国籍市民との共生のあり方について、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。(自由記述)

質問は以上です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

2024年11月15日（金）までに 投函してください。

川越市多文化共生に関する市民意識調査
報告書

令和7年2月

川越市 文化スポーツ部 国際文化交流課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1
電話 049-224-5506
FAX 049-224-8712
